

令和6年度



教

育

計

画



新潟県立五泉特別支援学校村松分校

# 校歌

## ともにきらめく～新潟県立五泉特別支援学校 校歌～

作詞 校歌制定委員会 作曲 外山 哲也

みどりがやく ふなおか山は  
 みんなの夢をつつんでる  
 みどりうるおす ゆたかな流れ  
 みんなの希望 いただいてる

未来へ つづく 五泉の空は  
 みんなの笑顔 てらしてる  
 未来へ むかう 大きなつばさ  
 みんなの願い はこんでる

なかまと いっしょに  
 手をつなぎ  
 大きなきずな ひろげよう

キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 ともにきらめく わたしたち

キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 ともにきらめく わたしたち  
 ※ 繰り返し

1 みどりがやく ふなおか山は  
 みんなの夢をつつんでる  
 みどりうるおす ゆたかな流れ  
 みんなの希望 いただいてる

2 未来へ つづく 五泉の空は  
 みんなの笑顔 てらしてる  
 未来へ むかう 大きなつばさ  
 みんなの願い はこんでる

なかまと いっしょに  
 手をつなぎ  
 大きなきずな ひろげよう

なかまと いっしょに  
 手をつなぎ  
 大きなきずな ひろげよう

キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 ともにきらめく わたしたち

※ { キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 キラッ キラッ キラッ キラッ  
 Shine with you  
 ともにきらめく わたしたち  
 ※ 繰り返し

# 目次

## I 学校の概要

1	本校の生徒	.....	3
2	学校の沿革	.....	3
3	生徒数	.....	4
4	学級数	.....	4
5	居住地別生徒数	.....	4
6	職員数	.....	4
7	教室配置及び校舎平面図	.....	5

## II 学校運営の概要

1	学校経営のグランドデザイン	.....	6
2	学校運営計画		
3	保健・安全指導計画	.....	1 1
	学校保健計画		
	学校安全計画		
4	保健室経営計画	.....	1 4
5	性に関する指導全体計画	.....	1 5
6	食育指導全体計画	.....	1 6
7	道徳教育全体計画	.....	1 7
8	人権・同和教育全体計画	.....	1 8
9	総合的な探究の時間全体計画	.....	1 9
1 0	進路指導全体計画	.....	2 1

## III 学校運営の計画と組織

1	運営委員会	.....	2 2
2	研究推進委員会	.....	2 3
3	地域支援部	.....	2 5
4	総務部	.....	2 9
5	指導部	.....	3 2
6	支援部	.....	3 9
※	五泉特別支援学校村松分校「学校いじめ防止基本方針」	.....	4 0

IV	補足資料	.....	4 4
----	------	-------	-----

# I 学校の概要

## 1 本校の生徒

本校は主に知的障害の生徒を対象とする特別支援学校である。次の生徒が在籍している。

- 自宅から自分で通学、または保護者と伴に通学する生徒（通学生）
- 「ふなおか学園」（新潟県中東福祉事務組合で運営される知的障害児施設）から通学する生徒（学園生）
- 自宅で教育を受ける生徒（訪問教育学級生）

## 2 学校の沿革

昭和39年	11. 20	一部事務組合設立認可	61年	7. 9	体育館起工式
40年	12. 27	五泉市立橋田小・中学校の分校設置認可		12. 17	体育館完成
41年	3. 31	学園設置認可	62年	3. 27	ふなおか更生園・学園・分校竣工式
	4. 1	新潟県中東地区知的障害児収容施設ふなおか学園事業開始、開園式・開校式（小学校2学級、中学校1学級）	平成元年	4. 1	通学認可、3名（小学部1年1名、3年2名）が保護者の送迎により、通学
44年	4. 1	重度棟設置認可 定員20名（小学校2学級、中学校3学級）	9年	4. 1	高等部重複障害学級新設（入学者2名）
54年	4. 1	新潟県立月ヶ岡養護学校に移管され、同校「ふなおか分校」として開校式を挙（小学部6学級〔普2・重1・訪3〕、中学部4学級〔普3・訪1〕、教職員18名	10年	4. 1	高等部訪問教育学級新設（入学者2名）
57年	10. 28	ふなおか分校用地買収完了（面積6、913㎡）		4. 8	五泉市学校給食センターによる給食を開始
58年	8. 25	ふなおか分校校舎起工式（58年、59年継続）	15年	8. 2	第1回同窓会総会
59年	6. 29	新校舎完成・移転	20年	4. 1	高等部普通学級新設（入学者7名）
				11. 8	創立30周年記念式典挙
			22年	4. 1	新潟県立五泉特別支援学校と改称し、独立校となる
				11. 3	開校記念式典挙 校旗・校歌・校章を制定
			令和4年	4. 1	高等部が分離移転し、五泉特別支援学校村松分校として開校
			令和4年	11. 12	開校記念式典挙

### 3 生徒数

学年	普通学級		重複学級		訪問学級		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1年生	10	4	0	1	0	0	10	5	15
2年生	10	5	0	0	0	0	10	5	15
3年生	9	3	0	1	0	0	9	4	13
計	29	12	0	2	0	0	29	14	43

### 4 学級数

普通学級	重複	訪問学級	合計
6	2	0	8

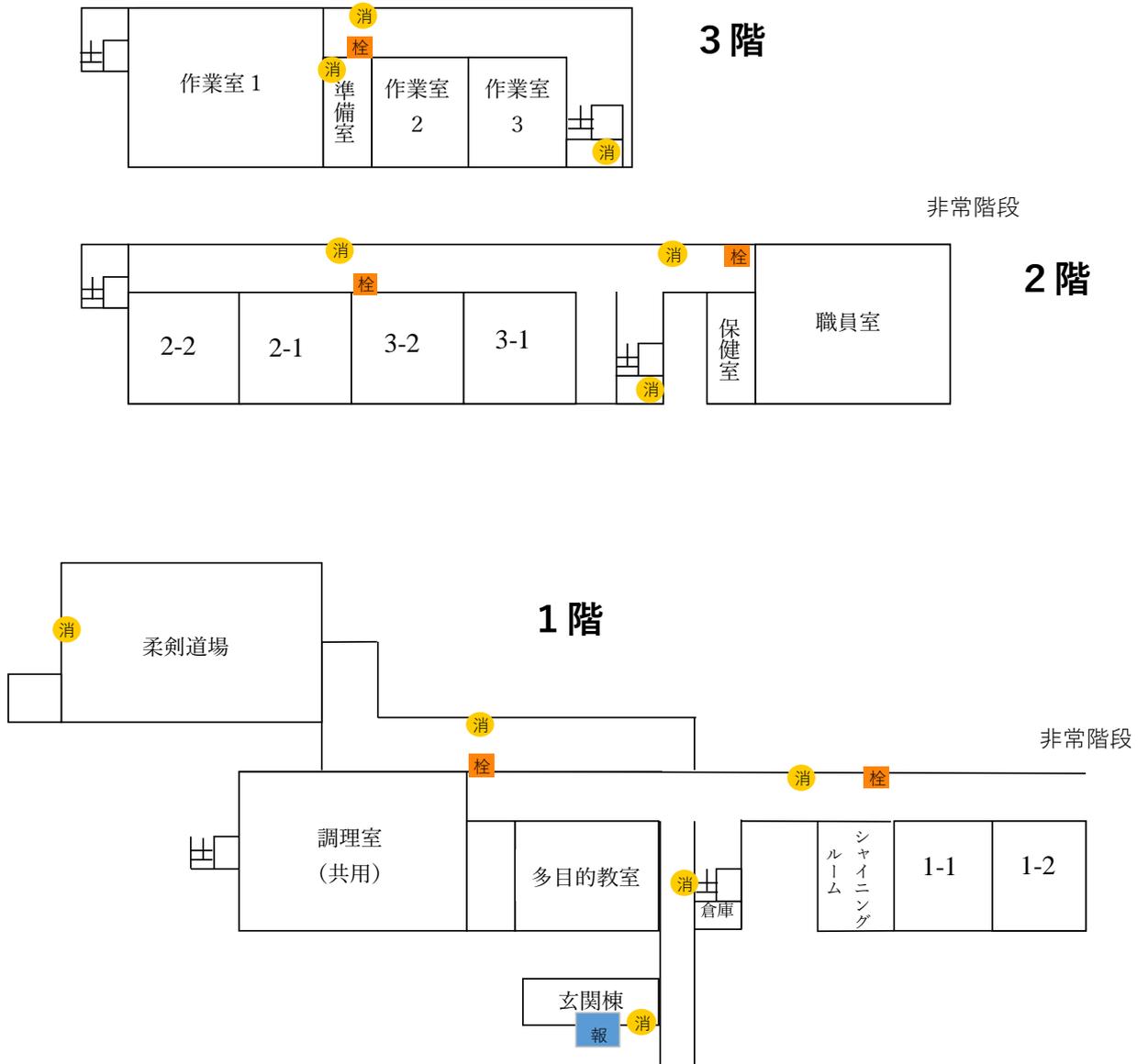
### 5 居住地別生徒数

出身地	高等部			計
	普通	重複	訪問	
五泉市	37	2	0	39
阿賀町	4	0	0	4
その他	0	0	0	0
合計	41	2	0	43

### 6 職員数

校長	教頭	教諭等 (講師含)	養護教諭	栄養教諭	実習助手	非常勤講師	事務員	業務補助	男	女	合計
1	1	20	1	1	1	0	1	1	11	16	27

## 7 教室配置及び校舎平面図



## II 学校運営の概要

### 1 学校経営のグランドデザイン

#### < 教育目標 >

「自分を見つけ、共に学び、未来を創る」

- ☆自分を知り、自分の可能性を見つけ、自己表現する
- ☆共に学び、個性を認め合い、地域を愛する
- ☆自ら学び、自ら判断し、なりたい自分を実現する

#### < 目指す学校像 >

- 生徒一人一人の願いを大切に作る安心安全な学校
- 人や地域との関わりを大切に作る地域から信頼される学校
- 人間性・専門性を磨きともに高め合う学校

< 本校の教育目標 >  
ともにきらめく

※「きらめく」とは「生徒が自分の良さを発揮するとき」と捉えている。一人一人のきらめきが、様々な場面で、より長く続くことを願っている。また、生徒同士が関わりを通して高め合い共に成長し、一人一人の「きらめき」がより大きな「きらめき」となっていくことを願っている。

#### ★ 学校経営の方針 ★

★ 教職員の専門性の向上

#### I 一人一人の多様なニーズに対応できる教育課程の編成・実施

- 企業就労希望や専門学校等進学希望にも対応できる、魅力ある高等部を実現
- 課題別学習による教科学習（資格取得に向けた学習を含む）の充実
- 様々な進路希望に対応した職業学習の実施
- クラブ活動による興味・関心に応じた余暇活動の充実
- 村松高校進路指導部との連携による一人一人に応じた進路指導の充実

#### II 村松高等学校との交流及び共同学習の実施

- 高等学校内に設置された高等部として、高等学校との交流及び共同学習を推進
- 授業や学校行事、特別活動、日常における交流
- ゲストティーチャー、研修等による教職員の交流

#### III 地域における特別支援教育のセンター的機能の推進

- 五泉市・阿賀町の特別支援教育を支える（本校と連携して）
- 五泉市・阿賀町の中学生を対象とした発達障害通級指導教室の実施
- 高校生（村松高等学校）を対象とした教育相談、SST、授業支援の実施
- 研修支援等による各校の特別支援教育担当者の育成

#### IV 村松地域（旧村松町）との連携

- 村松地域の活性化に寄与し、地域からの理解と信頼を得る
- 学習（職場実習や体験等）における多様な企業、施設、人々との連携
- 地域のイベントへの参加、商店街の清掃活動やボランティア活動の実施

## 2 学校運営計画

### (1) 令和6年度の重点目標

#### 【根気・意欲】

- 普** 自分の役割や責任を意識し、自ら進んで最後まで取り組む。  
**重** 自発的に取り組めることを増やし、根気強く取り組む。

#### 【かかわり・社会性】

- 普** 協調性をもって人とかかわる力や、作業活動に必要なコミュニケーション能力を高める。  
**重** 自発的な意思表示の力や、他者からのかかわりを適切に受け止める力を伸ばす。

#### 【健康】

- 普** 卒業後の生活に必要な身だしなみや生活習慣を身に付けるとともに、体力の向上を図る。  
**重** 支援を受けながら、基本的な生活習慣を身に付け、楽しみながら体を動かす。

**普** : 普通学級      **重** : 重複障害学級

### (2) 学習指導の内容

学習指導の内容は、生徒の課題とニーズに応じて最適な指導の形態とねらいを定めて設定する。設定に当たっては、必要とされる指導・支援の内容を十分に検討し、具体的に進める。また、内容に応じて課題別のグループ編成を取り入れたり個別形態を取り入れたりするなど、学習環境を工夫しながら効果的に進める。

#### 〔指導の形態と目標〕

指導の形態名	指導の形態の目標
日常生活の指導	基本的な生活習慣に関する内容や集団生活をする上での内容について、生徒の課題を明確に設定し、生活の流れに沿って指導し、できることを増やす。
生活単元学習	行事単元を中心に課題解決学習として捉え、自分の役割や責任を意識して取り組む姿勢や、人と関わり協力し合う力を育てる。
課題別学習	個々の実態や興味関心、ニーズを把握しそれらに応じて設定した学習課題に取り組むことで、個々に必要な力を身に付け、生涯にわたり意欲的に学ぼうとする態度を育てる。
作業学習 【はたらく】	働くための態度、知識の育成を目指し、各班でのねらいを明確にして作業班に生徒を固定することなく、いろいろな班で作業を行っていく。『働く』ための自己理解、自己選択、自己決定の力を育てる。
社会・家庭生活 【くらす】	卒業後の生活や職場を想定し社会生活、家庭生活で必要な知識、技能、態度を育てる。より生活に即した読み書き計算、金銭の取り扱いなどの力を育てる。
音楽【たのしむ】	余暇指導に重点を置き、音楽にふれ合う楽しさ、歌う楽しさ、演奏する楽しさを味わい、表現する喜びを知る。
体育【たのしむ】	余暇指導に重点を置き、体を動かす楽しさ、集団で行うスポーツの楽しさを味わう。
美術【たのしむ】	余暇指導に重点を置き、絵画、工作的な制作活動を行い、ものを使って表現する楽しさを味わう。
特別活動	集団活動への参加、交流活動、係活動を通して責任をもった行動ができるよ

	うにする。
自立活動 (学校生活全般)	生徒の課題を明確にし、よりよく生きる力を、教育活動全体を通して行う『自立活動の指導』、そして時間を設定して行う『自立活動の時間における指導』の中で育てる。
総合的な探求の時間	各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に進路選択、進路実現に関連付けながら将来に向けての学習を深め、職場体験、校内・職場実習での実践を通して意欲的に人と関わる力や、課題解決能力などの育成、定着を図る。

### (3) 日課表

日課表は、学習指導の内容に基づき編成する。編成に当たっては分かりやすく機能的な編成を行う。また、ねらいや学部の特性も踏まえた授業時数の調整を行い、必要な指導・支援に十分な時間が配当されるようにする。

#### 【校時表A】 ※普通学級

	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	9:10～ 9:25	学級活動 (LHR)	日常生活の指導 (着替え・SHR)			
	9:25～ 9:45		ファイトタイム (ランニング・筋トレ・ウォーキング等)			
	9:45～ 9:55		日常生活の指導 (身だしなみ、整理整頓)			
2	9:55～10:40	音楽③ 体育① 美術②	社会・ 家庭生活	課題別学習	社会・ 家庭生活	音楽② 体育③ 美術①
3	10:50～11:35	課題別学習		音楽① 体育② 美術③	課題別学習	課題別学習
4	11:35～12:30	日常生活の指導 (配膳／清掃、給食)				
	12:30～13:05	昼休み				
5	13:05～13:45	作業学習	作業学習	専門委員会	作業学習	生活単元学習
6	13:50～14:35			クラブ活動		
7	14:35～15:05	日常生活の指導 (着替え・SHR)				
		下校				

【校時表B】 ※重複学級

	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	9:10～ 9:25	学級活動 (LHR)	日常生活の指導 (着替え・SHR)			
	9:25～ 9:45		ファイトタイム (ランニング・筋トレ・ウォーキング等)			
	9:45～ 9:55		日常生活の指導 (身だしなみ、整理整頓)			
2	9:55～10:40	体育 ※学部	社会・ 家庭生活/ 自立活動 ※くらす	課題別学習 ※個別	社会・ 家庭生活/ 自立活動 ※くらす	美術 ※学部
3	10:50～11:35			課題別学習 ※個別体育 ※学部	音楽 ※学部	課題別学習 ※個別
4	11:35～12:30	日常生活の指導 (配膳/清掃、給食)				
	12:30～13:05	昼休み				
5	13:05～13:45	自立活動 ※はたらく	自立活動 ※はたらく	特別活動 (専門委員会)	自立活動 ※はたらく	生活単元学習 ※学級
6	13:50～14:35			特別活動 (クラブ活動)		
7	14:35～15:05	日常生活の指導 (着替え・SHR)				
		下校				

(4) 「行事計画」

行事計画は、学習指導の内容・日課表と照らして編成を行う。行事の設定に当たっては、上記の学習指導が計画的且つ効果的に展開できる最適な時期に設定する。また、校外学習・宿泊学習については、校内における教育活動を重視し、指導内容のねらい達成に向けて効果の高い行き先を吟味・選定すると共に、校外のみならず校内における事前・事後指導を重視し、適切な開催数を定めて行う。

〔年間行事予定〕

月	行事名	備考
4月	8日(月) 始業式	※は実施日未定の行事
	9日(火) 入学式	
	10日(水) 学部集会 (目標・1学期の行事) 生徒指導集会 (心構え・校則)	
	11日(木) 作業オリテ、登下校指導	
	17日(水) 委員会・クラブ活動オリテ	
	24日(水) 1年生を迎える会 (対面式)	
	26日(金) 村松高校との対面式	
5月	10日(金) 携帯スマホ安全教室	
	22日(水) 前期個別懇談開始～5/31	

	28日(火) 合同避難訓練	
6月	6日(木) きらめき体育祭 14日(金)～7月2日(火) 前期校内・職場実習 21日(金) 授業参観日	※五泉市合同企業説明会(於:村松高等学校)
7月	8日(月) 企業・福祉合同進路説明会 9日(火)～19日(金) 前期進路面談(2.3年) 22日(月) 生徒指導集会 24日(水) 終業式	
8月	夏季休業～31日	
9月	2日(月) 始業式 3日(火) 学部集会 12日(木)～13日(金) 1年生宿泊学習 20日(金)～10月9日(水) 後期校内・職場実習	※県立加茂農林高等学校交流会
10月	26日(土) きらめき祭	
11月	6日(水)～8日(金) 2年生修学旅行 12日(火)～21日(木) 3年生後期進路面談 26日(火) 学校説明会	
12月	20日(金) 学部集会 24日(火) 終業式	※校内スポーツ大会 ※3学年校外学習 ※進路面談:適宜(阿賀町)
1月	8日(水) 始業式 9日(木) 学部集会 31日(金) 総合選考(休校)	※進路面談:適宜(五泉市) ※高等部選挙
2月	7日(金) 漢字検定 14日(金) 授業参観日 15日(土) 三送会 17日(月)～28日(金) 後期個別懇談 21日(金) 入学説明会・体験入学	※支援会議(適宜) ※支給決定会議(適宜) ※らいふあっぷ登録会 ※同窓会入会式
3月	4日(火) 卒業式 21日(金) 終業式	

※社会家庭生活の校外学習は各グループで実施日検討中

※職場体験は7月～2月に4回実施予定

### 3 保健・安全指導計画

#### (1) 学校保健計画

学校保健目標 「自分の健康課題を知り、健康で安全な生活を送ることができる生徒の育成に努める。」  
 重点目標 「基本的生活習慣の育成及び性に関する指導の充実」

月	学校行事	重点目標	保健管理		保健教育		組織活動
			保健管理	環境管理	保健・健康に関する指導		
4	・始業式 ・入学式 ・給食開始 ・PTA総会 ・健康診断	自分の健康の様子を知ろう	・保健安全マニュアルの確認 ・保健調査 ・定期健康診断・事後措置 ・健康観察（通年）	・清掃計画提示 ・給食の衛生管理（通年） ・安全点検（毎月） ・机椅子の適正配置	・健康診断の受け方 ・感染症の予防 ・歯磨き・汗の始末 ・トイレの使い方 ・清掃の仕方	心と体の学習（性に関する指導） ・ブラッシング指導 ・生活習慣に関する指導 ・感染症予防指導 ・身だしなみの指導	・保健指導部会 ・安全衛生委員会
5	・健康診断	生活リズムを整えよう	・定期健康診断・事後措置		・生活リズム ・健康診断の受け方 ・疾病の早期発見・治療		・安全衛生委員会
6	・健康診断 ・職場校内実習	正しい歯みがきを身につけよう	・定期健康診断・事後措置 ・体重測定 ・熱中症予防強化 ・水泳時の健康管理 ・ブラッシング指導	・薬品管理検査 ・給食衛生管理検査	・疾病の早期発見・治療 ・歯と口の健康 ・梅雨時の健康管理 ・熱中症予防		・安全衛生委員会
7 ・8	・終業式 ・夏期休業	夏の健康管理に心がけよう	・体重測定 ・熱中症予防強化 ・ブラッシング指導 ・健康の記録記入 ・治療再勧告 ・職員健康診断	・照度検査 ・教室の空気検査 ・学期末大清掃 ・清掃用具点検・清掃	・熱中症予防 ・夏の健康管理		・危機管理委員会 ・保健安全研修 ・職員健康セミナー
9	・始業式 ・特体連 ・親善運動会	生活リズムをとりもどそう	・夏休み中の健康状態把握 ・発育測定 ・修学旅行の健康管理	・飲料水検査 ・ダニ・ダニアルゲン検査 ・机椅子の適正配置	・生活リズム ・感染症の予防 ・運動と健康 ・ケガの防止 ・修学旅行の健康管理		・学校保健委員会 ・安全衛生委員会
10	・職場校内実習 ・修学旅行	目・歯の健康を考えよう	・修学旅行の健康管理 ・ブラッシング指導	・照度・黒板検査 ・学校の清潔検査 ・給食の衛生管理検査	・目の健康 ・歯と口の健康 ・正しい姿勢 ・修学旅行の健康管理		・安全衛生委員会
11	・きらめき祭	体を鍛えよう	・体重測定 ・ブラッシング指導 ・治療再勧告		・歯と口の健康 ・感染性胃腸炎の予防 ・衣服の調節		・安全衛生委員会
12	・終業式	感染症の予防に心がけよう	・体重測定 ・感染症予防の強化	・学期末大清掃 ・清掃用具点検・清掃	・感染症の予防 ・冬の健康管理 ・冬休みの過ごし方		・保健指導部会 ・危機管理委員会 ・安全衛生委員会
1	・始業式		・冬休み中の健康状態把握 ・発育測定 ・感染症予防の強化	・教室の空気検査 ・給食の衛生管理検査	・感染症の予防 ・生活リズム		・安全衛生委員会
2	・入学者選考 ・入学説明会 ・個別懇談開始		・感染症予防の強化		・感染症の予防 ・心の健康	・安全衛生委員会	
3	・卒業式 ・終業式	健康生活の反省をしよう	・体重測定	・学期末大清掃 ・清掃用具点検・清掃 ・ワックス掛け	・健康生活の反省 ・春休みの過ごし方	・保健指導部会 ・安全衛生委員会	

## (2) 学校安全計画

月		4月	5月	6月	7・8月	9月	
安全学習	教科	保健体育	*	・スポーツ大会の安全	*	*	
		音楽	・楽器の安全な取り扱い方				
		美術	・美術で使用するはさみやカッター、ナイフ、彫刻刀などの道具の安全な使い方・写生や共同作品制作時等の安全な設定				
		家庭	・調理で使用するガスコンロなどの安全な使い方・ミキサー、電子レンジ、ホットプレートなどの電気製品の安全な使い方・包丁、ピーラー、調理バサミなどの調理器具の安全な使い方や安全な調理方法・ミシン、アイロンなどの電気製品の安全な使い方・針やはさみなどの道具の安全な使い方				
	作業学習	・サービス班…窓拭き等の高所での作業 ・農耕・木工班…鋸や移植鋤、鎌などの道具の安全な使い方・野菜や花の栽培における安全な作業・のこぎりなどの工具の使い方・材料の安全な取扱い ・リサイクル班…空き缶やペットボトルを安全に扱う ・マット班…はさみなどの道具の安全な使い方					
	自立活動	・健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション					
	総合	・学校における全教育活動との関連を基に計画し、進路学習や交流活動の中で、生徒の自発的な計画に基づき安全に対する意識を高める					
	安全指導	生活安全	・情緒の安定 ・日常生活にける安全	・集団行動の約束 ・友達との接し方	・一人で行ってはいけない場所、人通りの少ない場所の確認	・夏休みの過ごし方	・登下校での自分の身の安全の守り方や交通機関の安全な利用方法
		交通安全	・登下校の安全 ・安全な歩行 ・交通安全指導(警察)	*	・雨の日の交通安全(傘のさし方)	・交通機関の利用方法	・横断歩道の渡り方 ・自転車の乗り方
		防犯・災害安全	・ホイッスル指導の計画、実施 ・クマ等動物指導	・避難訓練(火災)火災の怖さと被害、ハンカチの大切さ ・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導
SHR活動		・各月の避難訓練や安全指導に対して、SHR活動を活用して事前学習や事後学習を行い、生徒がより理解できるように繰り返し指導する。					
学校行事等		<input type="checkbox"/> 修学旅行(旅行中の安全)	<input type="checkbox"/> 校外学習 <input type="checkbox"/> 障スポ県大会の安全	<input type="checkbox"/> 現場実習	<input type="checkbox"/> 加茂農林との交流会 <input type="checkbox"/> 校外宿泊学習(2年)	<input type="checkbox"/> 特体連スポーツ大会	
安全管理	対人管理	・健康観察 ・避難経路の確認 ・次月の避難訓練確認 ・火元責任者の表示	・緊急体制の確認 ・健康観察 ・生徒通学ルート、通学手段一覧表の作成	・水泳指導健康管理 ・健康観察 ・心配蘇生法の確認	・水泳指導健康管理 ・健康観察 ・AEDの使い方確認 ・夏季休業中の安全	・健康観察 ・次月の避難訓練確認	
	対物管理	・安全対策マニュアルの確認	・飲料水の点検 ・防災設備の点検 ・避難経路の点検	*	・安全対策マニュアルの見直し及び危機管理マニュアルの作成	・安全対策マニュアルの見直し及び危機管理マニュアルの作成 ・災害時備蓄品計画の作成	
		各教室、特別教室等の防火管理担当者による毎日の消防設備点検と閉鎖障害チェック、校内巡回指導					
学校安全に関する組織活動(含研修)		PTA・地域との連携					
		・春の交通安全運動 ・安全点検	・職員防災研修 ・安全点検 ・AED講習会 ・救急法講習会	・安全点検	・不審者対応訓練 ・安全点検	・秋の交通安全運動 ・安全点検	

10月	11月	12月	1月	2月	3月
	・陸上競技の安全	・陸上競技の安全	・バドミントン、バスケットボールの球技指導、サーキット運動における安全	・バドミントン、バスケットボールの球技指導、サーキット運動における安全	・バドミントン、バスケットボールの球技指導、サーキット運動における安全
・楽器の安全な取り扱い方					
・美術で使用するはさみやカッター、ナイフ、彫刻刀などの道具の安全な使い方・写生や共同作品制作時等の安全な設定					
・調理で使用するガスコンロなどの安全な使い方・ミキサー、電子レンジ、ホットプレートなどの電気製品の安全な使い方・包丁、ピーラー、調理バサミなどの調理器具の安全な使い方や安全な調理方法・ミシン、アイロンなどの電気製品の安全な使い方・針やはさみなどの道具の安全な使い方					
・サービス班…窓拭き等の高所での作業 ・農耕・木工班…鋸や移植機、鎌などの道具の安全な使い方・野菜や花の栽培における安全な作業・のこぎりなどの工具の使い方・材料の安全な取扱い ・リサイクル班…空き缶やペットボトルを安全に扱う ・マット班…はさみなどの道具の安全な使い方					
・健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション					
・学校における全教育活動との関連を基に計画し、進路学習や交流活動の中で、生徒の自発的な計画に基づき安全に対する意識を高める					
・不審者から自分の身を守る（防犯避難訓練）	・「こども110番の家」の場所の確認	・冬休みの過ごし方	・犯罪から身を守る携帯電話の使い方	・暖房器具の近くでの安全な行動	春休みの過ごし方
*	・交通機関の利用とマナー	・自転車に関する基本的な交通法規	・交差点の危険について	・雪の日の交通安全	・踏切事故等鉄道での安全
・避難訓練（不審者）地震の怖さと被害ドアの開放の意味 ・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・暖房器具の安全な使い方、身の回りの安全確認 ・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・予告なしの避難訓練（地震）あわてずに放送をよく聞いて行動 ・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・暖房器具の安全な使い方 ・身の回りの安全確認 ・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導	・ホイッスル指導 ・クマ等動物指導
・各月の避難訓練や安全指導に対して、SHR活動を活用して事前学習や事後学習を行い、生徒がより理解できるように繰り返し指導する。					
<input type="checkbox"/> 現場実習	<input type="checkbox"/> きらめき祭	*	*	*	<input type="checkbox"/> 三送会
・健康観察	・健康観察	・健康観察 ・避難経路の確認	・健康観察 ・避難経路の確認 ・次月の避難訓練確認 ・冬季休業中の安全	・健康観察 ・避難経路の確認	・健康観察 ・春季休業中の安全
*	・暖房器具の設備点検	・室内有害物質検査 ・避難経路の点検	・照度検査 ・防災計画の作成	・避難経路の点検	*
各教室、特別教室等の防火管理担当者による毎日の消防設備点検と閉鎖障害チェック、校内巡回指導					
P T A ・ 地域との連携					
・安全点検	・安全点検	・安全点検	・安全点検	・安全点検	・安全点検 ・校内事故発生状況と安全措置まとめ

## 4 保健室経営計画

村松分校教育目標 「自分を見つけ、共に学び、未来を創る」

### 目指す生徒像

- 自分でできることを増やし、自信を持って根気よく物事に取り組む。【意欲・根気】
- かかわりの輪を広げ、集団の中で生活する力を伸ばす。【かかわり・社会性】
- 基本的な生活習慣を身に付け、心身共に健やかな体をつくる。【健康】  
(担任、養護教諭、家庭、地域との連携を深めながら、生徒一人一人の健康課題の改善を図る。)

### 学校保健目標

- 自分の健康課題を知り、健康で安全な生活を送ることができる生徒の育成に努める。

### 生徒の健康状態及び課題

- 生徒の多くが様々な疾病異常を持ち、健康面で何らかの配慮が必要である。
- 衛生習慣の定着等、繰り返しの学習が必要な生徒が多い。
- う歯をもつ生徒は少ないが、歯肉炎を指摘される生徒の割合が高く、継続した歯科保健指導が必要である。
- 食に対するこだわりや運動量の少なさから肥満傾向となる生徒が多い。就労や自立を見据え、適切な食生活や体力作りを中心とした肥満予防指導が必要である。
- 性に関する知識や理解度の個人差が大きい。性被害・加害を予防する観点からも、衛生習慣や自分の体についての理解と対処法、人との適切なかかわり方を中心とした系統的な指導が必要である。
- 「心と体の学習」を継続して取り組むことにより、性の指導を強化し、進めていく。

### 保健室経営方針

- 生徒の一人一人の健康状態を的確に把握し、将来を見据えた健康管理や保健指導に努める。
- 学校保健活動のセンター的機能の充実に努める。

### 保健室における重点活動

保健管理	保健教育	健康相談活動	地域組織との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康観察や定期健康診断を通じて、生徒の健康状態を的確に把握するよう努める。</li> <li>○来室時の様子や担任、保護者からの情報により早期の健康問題発見に努める。</li> <li>○服薬に関しては、保健室で全て情報を把握できる体制を整える。</li> <li>○救急処置では、緊急度、重症度の判断を迅速に行い、個々の生徒に対応する。</li> <li>○「てんかん発作対応」「食物アレルギー対応」「嘔吐物処理」について、職員への周知を図り、誰でも対応できる体制を整える。</li> <li>○感染症対策については、全校体制での対応が円滑に行えるよう、保健室からの情報発信に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健計画や各分野の年間活動計画に沿って、計画的、系統的に行う。</li> <li>○生徒保健委員会の活動を生かし、全校への指導へ広げていく。</li> <li>○定期的に「ほけんだより」を発行し、学級での保健指導に活用できるようにする。</li> <li>○担任や保護者と連携しながら、個別の保健指導の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が心の安定を図ることができるよう、保健室の環境を整える。</li> <li>○保健室来室記録を蓄積し、課題の早期発見、対応に努める。</li> <li>○全校体制での支援が継続してできるように、関係各所との情報の共有に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健委員会において、学校での健康課題について学校三師、保護者、地域参加者へ情報提供をするとともに、今後の課題について話し合う。</li> </ul>

## 5 性に関する指導 全体計画

村松分校教育目標	生徒の実態	保護者・地域の方々の願い
自分を見つけ、共に学び、未来を創る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく、素直である。・性に関する知識や理解度には個人差が大きい。</li> <li>・人との距離感が分からず、適切なかかわり方を苦手とする生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身ともに健康に過ごしてほしい。</li> <li>・人と関わり合いながら生活してほしい。</li> </ul>

重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割や責任を意識し、自ら進んで最後まで取り組む。</li> <li>・協調性をもって人とかかわる力や、作業活動に必要なコミュニケーション能力を高める。</li> <li>・卒業後の生活に必要な身だしなみや生活習慣を身に付けるとともに体力の向上を図る。</li> </ul>

性に関する指導目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体を大切にすることや思春期の変化について理解させるとともに、適切に対処できるようにする。</li> <li>・自他や男女の違いを理解し、友達への思いやりやいたわりの気持ちを持ち、好ましい言葉遣いや態度で接することができるようにする。</li> <li>・性被害について知り、被害者、加害者にならないために必要な行動や態度について分かるようにする。</li> <li>・家族のあり方や男女が協力して生活することを知り、将来の生き方について考えることができるようにする。</li> </ul>

村松分校の目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の心と体の発達や変化について理解し、家庭や社会の一員として、適切に判断し行動できるようになる。</li> <li>・男女の違いや協力することの大切さを理解するとともに、よりよい人間関係が築けるようになる。</li> <li>・性被害に遭わないための予防策や加害者とならないための行動が分かる。</li> <li>・自己の将来について考えることができる。</li> </ul>

自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との適切なかかわり方</li> <li>・自己の理解と行動の調整</li> <li>・状況に応じたコミュニケーション</li> </ul>
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみに気をつけよう</li> <li>・エチケット、マナーを身に付けよう</li> </ul>
社会・家庭活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における心と体の安定</li> <li>・男女の違いについて知ろう</li> <li>・異性との正しいかかわり方や適切な行動</li> <li>・自分も相手も大切にしたいコミュニケーション</li> </ul>
総合的な学習(実習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場での適切なかかわり方</li> <li>・場に応じた身だしなみ</li> <li>・卒業後のライフプラン</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の清潔</li> <li>・心の健康</li> </ul>

# 6 食育指導全体計画

<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○肥満傾向の児童生徒が43%</li> <li>○特別支援学校（知的障害、発達障害、肢体不自由）</li> <li>○通学生、訪問生がいる。</li> <li>○放課後福祉施設の日中一時支援を利用している児童生徒がいる。</li> <li>○保護者の願い             <ul style="list-style-type: none"> <li>・咀嚼する力がついてほしい。</li> <li>・落ち着いてマナーよく食べてほしい。</li> <li>・偏食をなくし、少しでも食べられるものが増えてほしい。</li> </ul> </li> </ul>	<p>村松分校教育目標</p> <p>「自分を見つけ、共に学び、未来を創る」</p>	<p>文部科学省 「学習指導要領」</p> <p>教育委員会の方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食事の重要性</li> <li>2 心身の健康</li> <li>3 食品を選択する能力</li> <li>4 感謝の心</li> <li>5 社会性</li> <li>6 食文化</li> </ol>
<p>食に関する指導目標</p> <p>「好き嫌いしないで食べよう」</p> <p>「よく噛んで食べよう」</p> <p>「マナーを守って、楽しく食べよう」</p>		

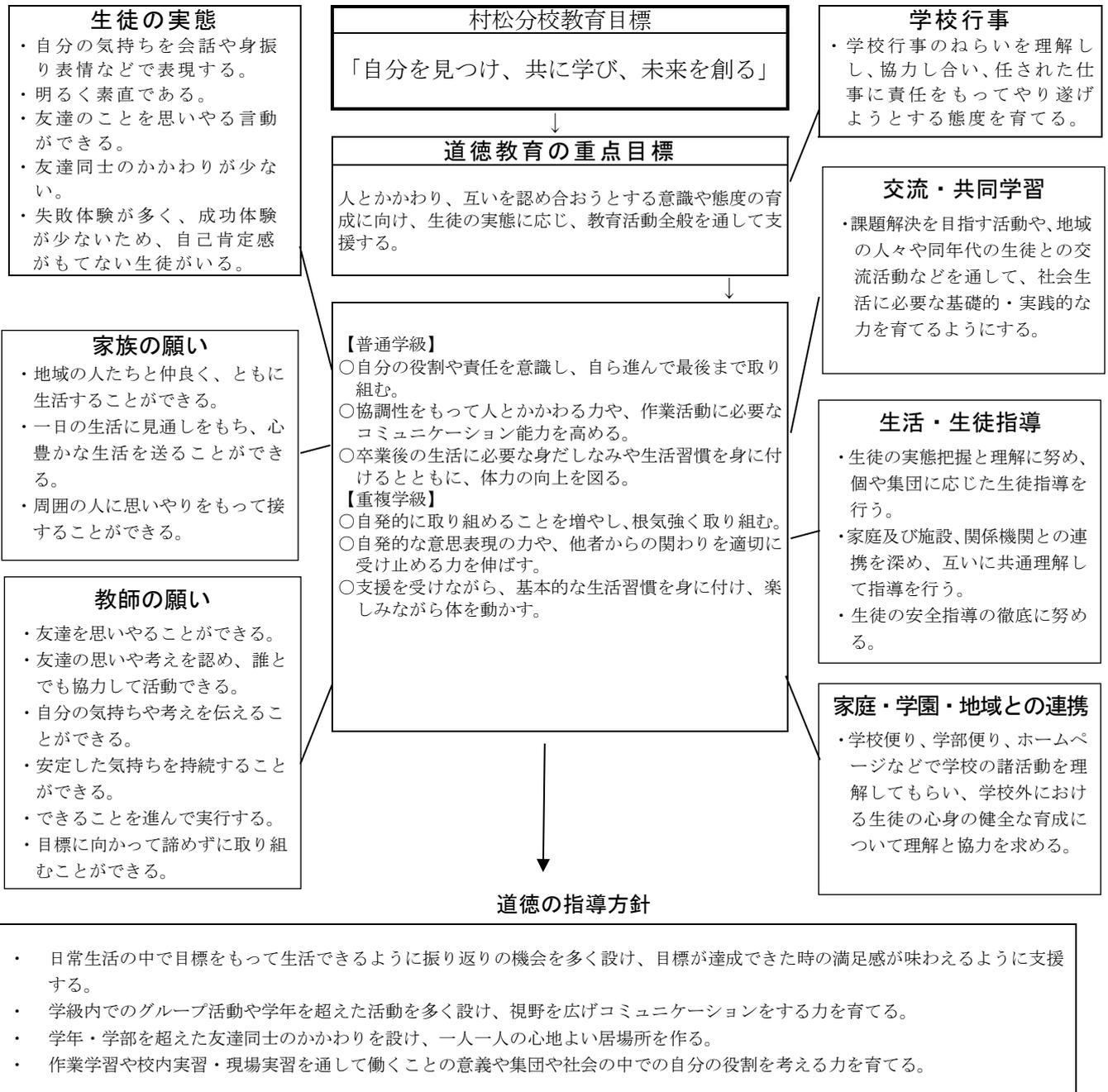
発達段階に応じた食に関する指導の到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食の運搬、配膳など能力に応じて仕事を受け持つと共に仕事に責任を持つ。</li> <li>○卒業後の生活を健康的に過ごせるように望ましい食習慣を身に付け、様々な食品の中から有用な物を選択できる。</li> <li>○食に関わる様々な人たちへの感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>	

		1学期	2学期	3学期
特別活動	給食時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を食べよう</li> <li>・食事のマナーを守って食べよう</li> <li>・ふれあいを大切にしながら、楽しく食事しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな食べ物を食べよう</li> <li>・よく噛んで食べよう</li> <li>・食べ物についての理解を深めよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のマナーに気をつけよう</li> <li>・正しい姿勢で食べよう</li> <li>・望ましい食習慣を身に付けよう</li> </ul>
	旬の素材 郷土食 地域素材			
	学級活動	今日の給食の献立を知る 給食ひとくちメモ		
学校行事		入学式 きらめき体育祭	きらめき祭	全国学校給食週間 卒業式

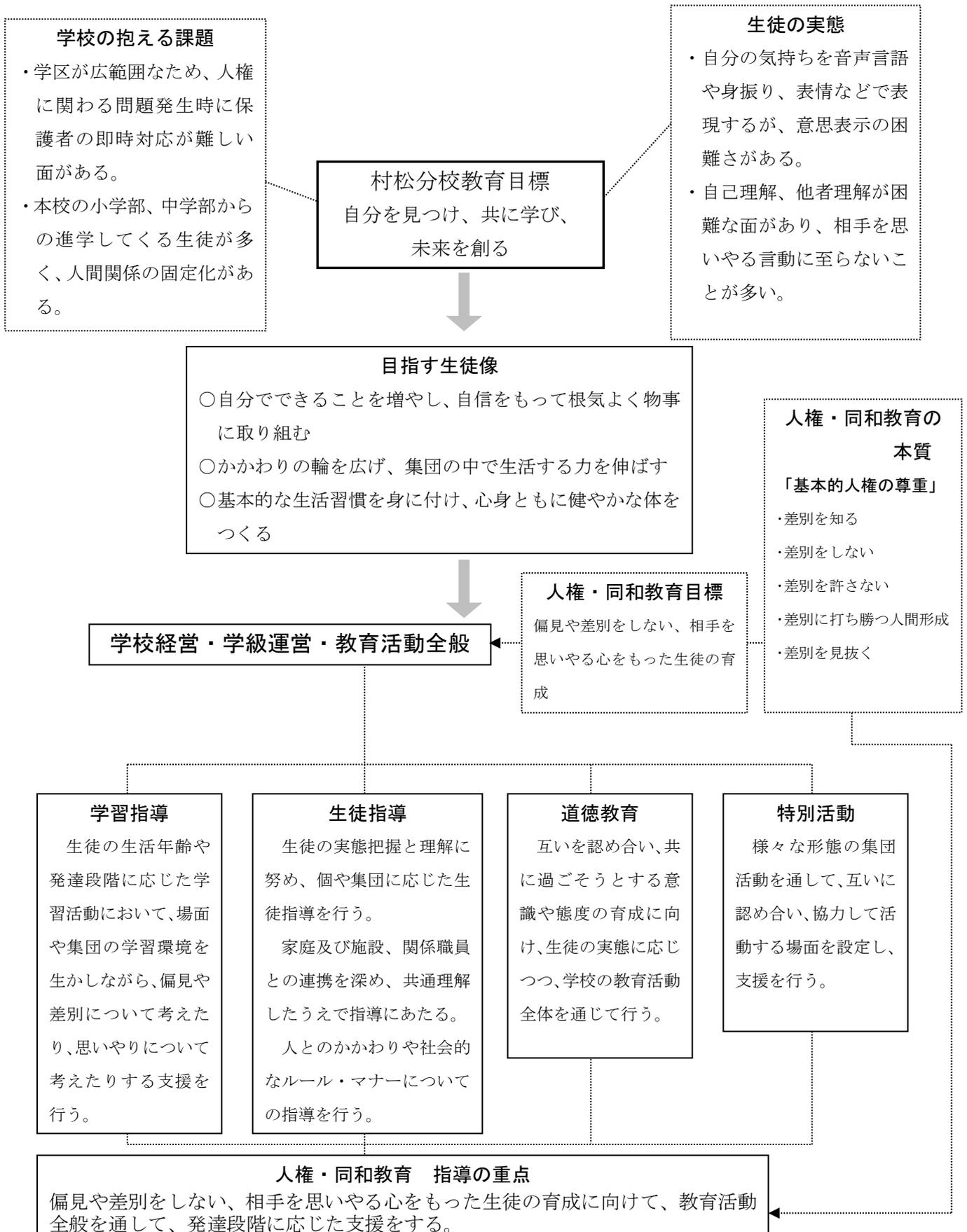
指導内容			
発達段階	I 段階（介助が必要）	II 段階（補助や指示が必要）	III 段階（おおよそ一人でできる）
領域・教科を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食のきまりを覚える。</li> <li>・スプーンで食べる。</li> <li>・五感を使っていろいろな食べ物を知る</li> <li>・食べ物の名前を知る。</li> <li>・よく噛んで食べる。</li> <li>・仲良く食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の献立の名前を知る。</li> <li>・はしを使って食べる。</li> <li>・好き嫌いを残さず食べる</li> <li>・食べ物を仲間分けする。</li> <li>・食べ物の働きを知る。</li> <li>・食事を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養のバランスを考えて食べる。</li> <li>・清潔な準備や後片付けをする。</li> <li>・正しいマナーを身に付ける。</li> <li>・美しい食卓作りをする。</li> <li>・感謝して食べる。</li> <li>・人とのふれあいを大切にしながら食事を楽しむ。</li> <li>・バランスを考えて食品を選ぶ。</li> <li>★「バランスのとれた食事」「おやつとり方」ゲストティーチャー 栄養士</li> </ul>
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康の保持             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のリズムや生活習慣の形成に関すること</li> </ul> </li> <li>○心理的な安定             <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害に基づく種々の困難を改善・克服する意欲の向上に関することなど</li> </ul> </li> <li>○人間関係の形成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の理解と行動の調整に関すること</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境の把握             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保有する感覚の活用に関することなど</li> </ul> </li> <li>○身体の動き             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な基本動作に関することなど</li> </ul> </li> <li>○コミュニケーション             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の受容と表出に関することなど</li> </ul> </li> </ul>	
総合的な学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学習</li> <li>・宿泊学習</li> <li>・校外学習</li> <li>・進路体験</li> <li>・現場実習</li> </ul>		

家庭・地域との連携	給食だより、保健だより、日々の連絡ノート
地場産物活用の方針	食品の名前、地域への関心、季節を感じる、調理方法の興味など
学園との連携	学学連絡会、日々の連絡ノート

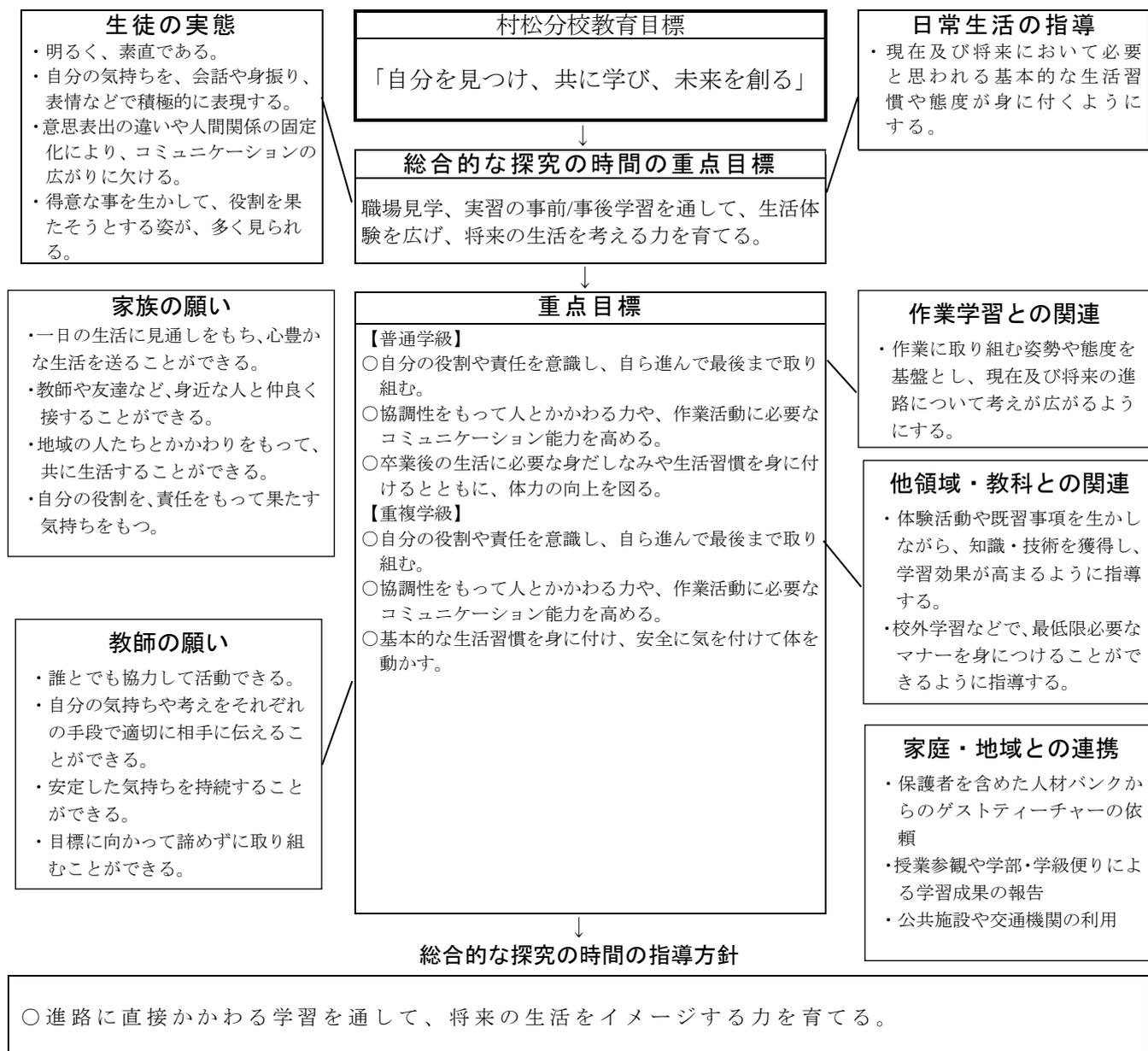
# 7 道徳教育全体計画



# 8 人権教育・同和教育全体計画



## 9 総合的な探究の時間全体計画



## 令和6年度 総合・交流年間指導計画

### 【年間目標】

○地域の人や同年代の生徒との交流活動をとおして、社会生活に必要な基礎的、実践的な力を育てる。

学期	月	時数	<>単元名（指導内容）と（・）ねらい	○主な学習活動
1	4	1	<村松高等学校との対面式> ・両校の生徒がお互いの学校について知ることができる。（担当：生徒委員会、交流部）	○生徒委員会を中心となって、村松分校のことを紹介する。  (特別活動)
	5	1	<村松高等学校との合同防災訓練> ・合同で安全に避難をすることができる。（担当：校地・安全防災部）	○合同で（晴れていたら屋外への）避難訓練を行う。  (日常生活の指導/学級活動)
	6	2	<村松高等学校体育祭> ・村松高等学校の体育祭に参加して交流することができる。（担当：体育部、交流部）	○村松高等学校の体育祭を参観したり参加したりする。（体育）
	6	1	<五泉市合同企業説明会> ・合同の企業説明会に参加することができる。（担当：進路支援部）	○合同の企業説明会に参加する。  (社会・総合探求)
2	9	5	<加茂農林高等学校との交流> ・加茂農林高等学校での活動を通して、同年代の生徒と交流することができる。（担当：交流部）	○加茂農林高等学校で高校生と一緒に体験活動を行う。（理科・国語）
	10	1 1	<きらめき祭> ・作業製品の販売活動やカフェを通して、地域の人や村松高等学校生と交流することができる。（担当：各作業班） ・お互いの美術作品を展示して鑑賞することができる。（担当：交流部、図工・美術部）	○作業製品販売やカフェを行う。  (職業) ○村松分校のきらめき祭に、村松高等学校の生徒の作品を合同展示して鑑賞し合う。（美術）
未定			<ALTとの交流> ・外国語を使った簡単な挨拶やゲーム等の活動を通して、ALTとの交流をすることができる。	○ALTとの英語活動を行う。（英語）

# 10 進路指導全体計画



### Ⅲ 学校運営の計画と組織

#### 1 運営委員会

運営委員会は、運営委員により構成する。運営委員は運営委員会にて、学校運営にかかわる協議・検討及び業務を管理し、学校運営、行事及び学部による教育計画などについて協議・検討及び決定を行う。

運営委員は学校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、学年主任、保健主事で構成する。協議・検討を要する案件に応じて各分掌主任を加えて実施する。なお運営上、特に設定・必要とされる委員会については、運営委員会の所管により開催する。委員会は以下のとおりとする。

委員会名	委員会の内容	統括担当
学校評議員会	学校運営に関して、地域や連携する関係者により、構成される。年間2回開催し、学校運営や方向性について意見の聴取を行う。	校長 ○教頭 教務主任
P T A事務局	P T A三役との折衝や会計を含め、P T A事務の全体を補助する。P T A総会及びP T A役員会を定期で開催する。	教頭 ○教務主任
生徒指導委員会 (いじめ・不登校)	いじめ、不登校をはじめ、生徒指導にかかわる案件について協議・検討を図る。必要に応じて開催する。	校長 教頭 教務主任 ○生徒指導主事 保健主事 養護教諭 学年主任
安全衛生委員会	教育活動及び校地・校舎の安全、リスクマネジメントにかかわる案件を取り上げて報告・必要に応じて協議し、共通理解を図る。月1回開催する。	校長 ○教頭 教務主任 専門員 衛生推進者 (養護教諭)
医療的ケア委員会	医療的ケア対象の生徒に関する実施の適否や実施経過の確認、その他医療的ケア実施に必要な事項について協議・検討を学期に1回行う。	校長 教頭 保健主事 訪問担当 訪問・医ケア

#### 研修部と地域支援部のサポート

運営委員会は、研修部、地域支援部の活動における必要な管理・指導を行い、両部の計画の立案・活動及び評価において指導・助言を行うものとする。また、研究主任及び特別支援教育コーディネーターを運営委員会に加えることができる。

## 2 研究推進委員会

担当:○中島 中村 佐藤 教頭

### 研修計画

#### 1 研修テーマ(案)

「働く意欲を培う作業学習の工夫 ～地域社会とのつながりを念頭に～」

#### 2 研修テーマ設定の理由

特別支援学校高等部学習指導要領において、作業学習は「作業活動を学習活動の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習する」ものとして明記されている。

当校でも、生徒の自立を目指し、将来働くために必要な力を生徒につけられるように作業学習を計画し、指導を行ってきた。昨年度の一年間を振り返ると、働くために必要なコミュニケーション(報告、相談など)を少しずつ身に付けることができたり、自分のペースで作業を続けることができるようになったりする等、生徒の成長が随所で見られた。作業学習の担当職員全員で生徒の実態を見取り、目指す姿と支援を共有し、日々の作業学習にあたったことが、一定の成果につながっている。

一方で、生徒の働く力を伸ばしたいあまりに「どのように作業スキルを向上させるか」といった技術的なことや、製品販売に追われて「どれだけ多くの作業製品を仕上げるか」といったことに作業学習の焦点が当たったように見受けられる。

そこで、今年度は本来の作業学習の目的である「生徒の働く意欲を培う」ことに立ち返り、作業学習の工夫を行っていく。また、「働く意欲を培う」ために、地域社会とのつながりは必須である。地域社会とつながることによる充実感・達成感を生徒なりに感じ、働く意欲へとつながるようにしたい。

#### 3 研修の方向

研修にあたり、以下の3点を念頭に置き、学習計画や支援方法を見直す。学習方法についても、「作業学習＝作業をする時間」だけにとらわれず、座学や見学、体験など、様々な方法から生徒の実態に合った学習方法を検討して取り入れていく。

##### ① 社会への貢献

自分の働きが地域社会とつながっていることや、地域社会の一員として役割を果たしていることに生徒が気付くことのできる場を設定する。これまで行ってきた作業製品販売や喫茶の他にも、地域に作業の場を広げる、地域から講師を招く、作業の前後を知る(資材がどこから来るか、作業製品の行方等)といった学習を検討したり、それぞれの取り組みを地域に向けて発信する場を設けたりしていく。

##### ② 他者とのつながり

地域とのつながり、学校外の指導者との関わり、共に働く仲間や教師との協力など、周りの人との関わりを積極的に取り入れる。

##### ③ 自己の成長や課題への気付き

自分のした仕事を自分で評価できるようになると、次の働く意欲へとつながっていく。自分で評価できるようになれば、自身の課題に対しても受け入れ、挑戦し、より質の高い働きへとつなげることができる。生徒が自己の成長を認めることができるように、振り返りの仕方や評価の方法などの工夫をする。

#### 4 今年度の研修の方法

##### (1) 授業実践・授業研究による研修

各作業班で、研修テーマを踏まえて年間指導計画を検討し、そのうちの1時間を公開する。授業公開に際しては、上記の①～③に関わる場面を設定することが望ましいが、生徒の実態や授業の構成上難しい場合は、①～③のいずれかで構わない。

12月に、各作業班の実践について報告する場を設ける。職員がそれぞれの実践から学び合うことで、次年度の学習へとつなげ、生徒に還元されるようにしたい。

##### (2) 個別の指導計画(新形式)の遂行

今年度から個別の指導計画が新しい形式となった。目標や支援の立て方については、昨年度から研修を重ね、職員で共通理解してきた。また、ニーズ把握として活用できるように、ステップアップシートの

形式について検討してきた。

評価の記入については今年度からの実施となる。評価することは、生徒本人や保護者に成長の様子を伝えることができると共に、教員にとっても、目標や学習内容、支援方法が適切であったか確認できる重要な工程である。評価することがより適切な支援へとつながっていくように、評価の仕方についても研修の場を設けていく。

### (3) 外部講師等による研修

特別支援教育に関して幅広く、深い知識や専門的な技能の習得のため、外部講師や校内講師による研修の充実を図る。職員や各分掌から希望を聞き、ニーズに応じた研修を実施する。

## 5 今後の研修の予定

学期	月	授業実践・授業研究	年間指導計画	外部講師研修 校内講師研修
1 学期	4月	研修方法・研修テーマ 承認		
	5月	◎全体研修会（5月10日）		職員アンケート  外部講師・校内講師による研修
	6月	研修日：19日（水）	校内定期研修	
	7月	研修日：26日（金）		
夏休	研修日：はたらく部会	1学期分修正		
2 学期	9月	【授業実践（公開授業）】 ① 授業準備・事前検討 ② 授業実践（公開授業） ③ 事後検討 12月23日（月）午後 研修のまとめ（取り組み発表）		
	10月			
	11月			
	12月			
冬休			2学期分修正	
3 学期	1・2月			
	3月	研修全体会	3学期分修正 →次年度へ	

○校内定期研修日（作業学習グループで実施）

5月16日（木）	年間授業計画作成 社会とのつながりの活動の時期検討
6月19日（水）	授業公開日・授業のねらい（仮）決定→中島へ報告
7月26日（金）	指導案検討①
8月末（はたらく部会）	指導案検討② 授業公開日・授業の単元名・ねらい決定→中島へ報告 授業参観希望を一覧表に記入（必ず1回は参観する）
9月～12月	授業公開 ・授業公開日1週間前までに指導案を研推に提出 ・まとめの発表で動画（定点可）や写真を使う場合は、各作業班で撮影する。 ・参観者は参観シートを記入して授業者に提出 ・事後検討（作業学習グループ）
12月23日（月）	研修のまとめ（取り組み発表） ・発表資料（形式は自由）を3日前までに研推に提出

※校内研修日は各グループの都合で変更しても良い。また、進捗度合いによっては必要がない場合は行わなくても良い。

### 3 地域支援部

担当：○中村、佐藤、捧

**当校グランドデザイン**  
**地域における特別支援教育のセンター的機能の推進→五泉市・阿賀町の特別支援教育を支える**  
 ○五泉市・阿賀町の中学生を対象とした発達障害通級指導教室の実施  
 ○高校生（村松高等学校）を対象とした教育相談、SST、授業支援の実施  
 ○研修支援等による各校の特別支援教育担当者の育成



グランドデザイン に基づく運営目標	<p>○<b>校外支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域（五泉市及び阿賀町、近隣市町村等）の障害児・者への積極的な支援の推進と障害児・者への理解の促進に向けた取り組みを行い、センター的機能の充実が図られるようにする。</li> <li>・五泉特別支援学校の取り組みを広く発信し、特別支援教育及び学校についてのより一層の理解と啓発を図る。</li> </ul> <p>○<b>校内支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者のニーズに応じて、関係する分掌や必要な関係機関と連携をしながら支援の充実を図る。</li> </ul>
----------------------	---

#### 1 活動の内容

[校外支援]

- ①「**学校・園・担当者支援**」：幼稚園、保育園及び小学校、中学校、高等学校等の組織と教諭、保育士、介助員等の周辺支援者
  - ・年間を通じてのフリー相談&プチ研修の場（R6年度はそれぞれ3回程度実施予定）
  - ・保育園や学校等で行われる職員研修の講話、保護者懇談での助言
  - ・心理検査の実施（実施後教育相談等）（R5年度は4回実施）※五泉市と連携、別紙参照
  - ・学校紹介・案内
  - ・授業づくりにかかわる協力・助言、ユニバーサルデザイン授業にかかわる情報提供、助言
  - ・活動参加等による直接的な支援方法の伝達
  - ・教育・就学相談の開催（☒相談含む）、必要に応じた各種検査の実施
  - ・検査器具、教材の貸し出し（貸し出し簿有） 等
  
- ②「**保護者支援**」：特別な支援を要する・要すると思われる幼児児童及び生徒の保護者
  - ・教育・就学相談、養育相談等の各種相談（☒相談含む）、情報提供
  - ・学校紹介・案内
  - ・地域の各種保護者団体の依頼に基づく講演会の講師
  - ・心理検査の実施（実施後教育相談等） ※五泉市と連携 別紙参照 等
  
- ③「**地域連携支援**」：地域の障がい児・者福祉にかかわる各機関・その他
  - 「五泉市障がい者総合支援協議会（4号委員：学校長、子ども部会会員：中村）」
  - ・五泉市の事業活動への具体的な参画や情報提供、子ども部会への定期参加

「令和5年度五泉市就学相談支援チーム」（五泉市特別支援教育コーディネーター校）

- ・五泉市就学相談支援チーム情報交換会への参加（7月、9月、11月、1月開催）
- ・五泉市教育委員会が開催する就学相談、園児・児童・生徒の観察の参加
- ・阿賀町教育委員会との連携 → 「五泉市教育支援委員会<11月>」（校長・特支C0）
- 「五泉市適応指導教室」との連携
- ・適応指導教室での生徒の観察

#### 新潟障害保健福祉圏域療育部会の参加（年2回程度）

- ・医療的ケアを必要とする障害児・障害者の支援について、関係機関の協議の場を活用して、支援体制の構築を図る。
- ・児童発達支援センターの設置について、圏域内での課題を整理する。（R2年度五泉市・阿賀野市・阿賀町合同での設置が決定）

#### ④「特別支援教育啓発のための取り組み」

「オープンスクール」の計画・運営 → R6年度 7月10日（水）、10月31日（木）

- ・各学部による特色ある授業、活動の様子の公開、ミニオリエンテーション
- ・アンケート・ニーズ調査
- ・教育相談

等

「学校見学・学校体験」の受け入れ

- ・保護者や本人、在籍校からのニーズに応じての学校体験の積極的な受け入れ（随時）

「ニーズに基づく公開講座・情報提供」の企画・運営

- ・地域、保護者のニーズに基づいた研修会の企画・運営（依頼内容により、五泉特別支援学校・本校の地域支援部と連携し、企画・運営を行う。）
- ・研修部と連携した公開講座の発信

学校教育活動の地域への情報の発信の工夫と充実

- ・きらめき体育祭、きらめき祭の案内の発信
- ・ホームページ等でのオープンスクールやプチ相談会の開催等の情報発信と整備

[校内支援]

##### ①「定例地域支援部会の開催」

- ・校内の気になる生徒の情報交換と支援の方向性を検討する。
- ・校外支援の支援内容や課題等について共通理解を行う。

##### ②「保護者のニーズに基づく教育相談、対象学年の生徒の進学相談の実施」

- ・家庭での困り感やサービス利用等について等の相談にのる。
- ・中学3年生の保護者と進学に向けた面談を行う。
- ・連絡帳等による家庭での様子を担任と共有しながら必要に応じて実施する。

### ③ 福祉機関等との窓口、会議等の調整

- ・要請に応じて、支給決定会議やケース会議等の連絡調整を行う。（福祉機関によっては、担任と直接日程調整を行う場合もある。）
- ・要請に応じて、放課後等デイサービスの担当者や相談支援員さんと長期休業前に情報交換会を行う。→サービスの支援計画をみせてもらってもよいかも。

### ④ 職員への情報提供

- ・地域での研修会や地域の情報について、職員へ発信をしていく。

## 2 分担 <地域支援部全員で分担、協力しながら取り組む。情報の共有を大事にする。>

### [校外支援]

#### ① 「学校・園・担当者支援」

- フリー相談&プチ研修 中村・佐藤
- 心理検査 教育相談等 佐藤
- 検査器具教材の貸し出し 佐藤
- 教育 就学相談 全員
- 講演会講師 研修会講師 全員
- 主事同行 中村・佐藤

#### ② 「保護者支援」

- 教育・就学相談、養育相談 全員
- 心理検査（教育相談等） 佐藤

#### ③ 「地域連携支援」

- 「五泉市障がい者総合支援協議会（4号委員：学校長、子ども部会会員：中村）
- 子ども部会
- 「令和5年度 五泉市就学相談支援チーム」（五泉市特別支援教育コーディネーター校）
- 五泉市就学相談支援チーム情報交換会 中村（必要に応じて）
- 五泉市教育委員会が開催する就学相談、子どもの観察 中村（必要に応じて）
- 「五泉市適応指導教室」 中村
- 新潟障害保健福祉圏域療育部会 中村

#### ④ 「特別支援教育啓発のための取り組み」

- 「オープンスクール」の計画・運営 ○中村 佐藤
- 「学校見学・学校体験」 ○中村・佐藤
- 公開講座・地域への情報発信 全員（※必要に応じて本校と連携）
- 学校紹介パンフレット・動画作成（生徒向け） 中村・捧
- 地域支援部パンフレット作成（職員向け） 中村・佐藤

#### ⑤ 通級指導（別頁「通級指導」参照）

#### ⑥ 村松高等学校での授業：中村・佐藤 1年生：3回 2年生：2回

### [校内支援]

- ① 定例地域支援部会 : 全員
- ② 教育相談、就学相談 : 全員
- ③ 福祉機関等との窓口、会議等の調整 : 中村
- ④ 職員への情報提供 : 中村・佐藤
- ⑤ ケース会議・情報共有会の実施 : 中村・佐藤
- ⑥ 長期休業中の放デイ等施設見学 : 全員
- ⑦ 奨学金関連業務 : 中村

3 令和6年度 地域支援部計画 <※活動については、記録を蓄積し、次年度にいかす。>

	校外支援					校内支援	
	①「学校・園・担当者支援」②「保護者支援」③「地域連携」			④「特別支援教育啓発のための取組」			
4月	<b>①②③各関係機関・者への事業案内、連絡、ニーズ聴取申し込み、要望に基づく各支援事業の実施</b> <small>(出向相談・受入相談・相談・ケース観察と支援・発達検査等)</small>	<b>③療育教室への訪問、五泉市の適応指導教室への訪問 療育部会の参加 ※必要に応じて</b>	<b>①③五泉市教育委員会の要請に基づく学校・園への出向(主事同行)と担当者支援</b>	<b>①③五泉市就学相談支援チーム(園訪問・観察・情報交換) 就学支援委員会</b>	<b>③五泉市障害者総合支援協議会・子ども部会・圏域療育部会への定期参加</b>	☆OS① 計画立案・準備	年間地域支援部 計画立案・準備
5月						○地域支援部パンフレット作成	5/13(月) 地域支援部会
6月						☆OS① 案内発送6/3(月) ・きらめき体育祭 6/6(木) ○学校紹介パンフレット・動画作成	6/10(月) 定例地域支援部会
7月						☆オープンスクール① 7/10(水) →ニーズアンケート・教育相談 ○フリー相談① 7/12(金)	7/3(水) 地域支援部会
8月						放課後等デイサービス見学 ○プチ研修会 ☆OS②→計画立案・準備	8/23(金) 地域支援部会
9月						☆OS②→案内発送9/24(月)	
10月						・きらめき祭 10/26(土) ☆オープンスクール② 10/31(木) →授業公開・教育相談	10/24(木) 地域支援部会
11月						○フリー相談② 11/12(火) ・学校説明会 11/26(火)	11/1(金) 地域支援部会
12月							
1月						・総合選考 1/31(金) ○フリー相談③ 1/23(木)	1/20(月) 地域支援部会
2月						・入学説明会 2/21(金)	
3月							
備考	※随時、学校見学、体験の受付 就学進学相談は九月十月に行う					※学校体験は適宜受け入れる ※ホームページへの掲載に向けて広報部と連携する。 ※フリー相談の案内は阿賀野市にも発送する。	※福祉機関等との会議等の調整 ※学校内の支援体制について検討する。

→記録は年度末等に県に報告する機会があるので、その都度表に記録し、保管するようにする。

## 4 総務部

### 教務部

担当：○阿部淳 各学年主任

令和6年度 運営目標	◎学校内及び村松高等学校との連絡を密にし、日々の教育活動が円滑に行われるようにする。	
具体的な活動内容 と担当	○教育計画の作成 ○年間予定、月予定の作成 ○「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」年間予定の作成 ○村松高等学校との連絡調整 ○教務部会の主催 ○職員・生徒用週案の作成 ○職員作業の日程調整	教務主任 教務主任 教務主任 教務主任 教務主任 教務主任 教務部 教務部
備考	※その他必要な教務全般は、教務主任を中心として協力して行う。 ※職員会議の計画・会場設営等を適宜行う。 ※「教務部会」には、教務主任・教務副任のほか、学年主任と教頭が必要に応じて参加することとする。	

### 学籍・出席統計部

担当：○山田 中島

令和6年度 運営目標	○転出入手続き、出席に関する業務、卒業台帳の業務などを確実に行う。	
具体的な活動内容 と担当	○生徒の転出入に関する業務 ○出席簿を校務支援システムで4月に作成 ○月末の出席簿点検（毎月） ○学期末の出席統計（3回） ○卒業生台帳の作成（12月） ○指導要録の点検（3月） ○出席簿及び指導要録の整理（3、4月）	山田 山田・中島 山田・中島 山田・中島 中島 全員 全員
備考		

図書・教材教具部

担当：○清水 吉田

令和6年度 運営目標	<p>〔図書〕</p> <p>○生徒が利用したくなる、図書の環境作りを進める。</p> <p>〔教材教具〕</p> <p>○備品の管理が円滑に行われるように努める。</p>	
具体的な活動内容 と担当	<p>〔図書〕</p> <p>○生徒図書の管理、多目室の図書コーナー、閲覧環境を整え、整理整頓を行う。</p> <p>○図書を受け入れ（ラベル貼り）、エクセルデータに記し、蔵書一覧を作成する。</p> <p>○分類番号順を意識した収納整理をする。</p> <p>○蔵書点検を行える準備を進める。（原則、隔年実施）</p> <p>○会計（図書環境作り、図書購入等）</p> <p>○村松高等学校図書館利用のための打ち合わせをする（オリエンテーション、名簿提出）。</p> <p>〔教材教具〕</p> <p>○備品整理の日程作成、備品台帳の整理と点検（7月）</p> <p>○生徒用机、椅子、靴箱の調査・調整・配当（3月）</p> <p>○消耗品の発注（通年）</p>	<p>吉田・清水</p> <p>清水・吉田</p> <p>清水・吉田</p> <p>吉田</p> <p>清水</p> <p>清水</p> <p>清水</p> <p>清水</p> <p>清水・吉田</p> <p>清水・吉田</p>
備考		

庶務・厚生部

担当：○堀口 田村 西丸

令和6年度 運営目標	<p>庶務部門・・・職員が円滑に教育活動ができるように、迅速に対応する。</p> <p>厚生部門・・・全職員の親睦を深め、よりよい関係づくりを図る。</p>	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入職員の名札作成・貼り付け（テプラで、靴棚 更衣室ロッカー・椅子・机の引き出し・更衣室 棚・レターボックス。※更衣室棚、レターボックスは細いテプラ。）</li> <li>・歓迎のメッセージ（靴箱・更衣室ロッカー・机上）</li> <li>・玄関の歓迎と案内の掲示</li> <li>・入学式・卒業式の花注文・設営・鉢植えの世話</li> <li>・「いずみの会」会費実費徴収職員の集金</li> <li>・職員室の水場の整理整頓</li> <li>・緑茶・ほうじ茶・コーヒー・ペーパータオルなどの補充</li> <li>・歓迎昼食会・歓迎会・暑気払い・忘年会・送別会などの活動総括</li> </ul>	<p>令和6年度の担当は</p> <p>昼食歓迎会・・・分校幹事</p> <p>暑気払い・・・3年部</p> <p>忘年会・・・2年部</p> <p>送別会・・・1年部・大学部</p>
備考		

## 会計部

担当：○田村 三星 清野

令和6年度 運営目標	≪行動目標≫ ○会計担当者で協力し合い、円滑に会計業務を進める。 ○事務長と連携し、適切に会計処理が進むように工夫・改善を行う。	
具体的な活動内容 と担当	○通帳開設及び解約の手続き ○学習費、積立金等の集金、管理 ○諸帳簿の整理と保存 ○各学級の「集金計画」の作成 ・令和5年度の諸経費について（お知らせ） ○毎月の諸経費集金に関わる連絡、文書作成 ○学園に関わる連絡 ○学園措置生学級費請求文書作成 ・各学期学習費振込請求（措置生） ○新年度各学級の「集金計画」の検討・起案 ○新年度会計事務担当説明会 資料作成 ○新年度通帳開設及び解約の手続き準備	◎会計主任 ◎各通帳担当者 ◎各通帳担当者 ◎会計主任  ◎会計主任 ◎会計主任、通帳担当者 ◎会計主任 教務主任（PTA会費） ◎会計主任 ◎会計主任 ◎会計主任 ◎会計主任
備考		

## 広報部

担当：○笠原 小熊 西丸

令和6年度 運営目標	・地域や関係機関との関わりをより深めるため、学校だよりやホームページを工夫し、分かりやすく心に響く広報活動を行う。	
具体的な活動内容 と担当	○学校便り ・年間発行計画作成 ・原稿依頼、編集作業 ・メール配信 ○回覧・掲示 ・各種たよりの職員回覧 ・教務室脇のポスター掲示・管理 ○ホームページ管理 ・ホームページの定期的なアップデート	笠原 笠原、小熊 笠原、小熊、西丸 （教頭） 小熊、笠原 小熊 笠原 笠原、西丸 西丸、笠原
備考	・ホームページに載せる内容は、地域支援部と連携する。	

## 5 指導部

### ①教科教育

日生・自立部

担当：○笠原 清水

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の日常生活の充実と高まりを目指し、職員が日常生活の諸活動において効果的な支援を行えるようにする。（日常生活の指導）</li> <li>個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する取組を促す指導についての理解を深め、その実践を支援する。（自立活動）</li> </ul>	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自立活動及び日常生活の指導にかかわる資料の紹介</li> <li>○コミュニケーション教材、活用の紹介</li> <li>○ICT機器＝視線入出力装置（アイトラッカー、マイトビー）の利用、実践の蓄積</li> <li>○VOCA、スーパートーカー等の音声コミュニケーションツール及びタイムタイマー等の配当調整と教具の管理、利用調整</li> <li>○備品・消耗品の購入と補充</li> </ul>	清水 笠原 清水 笠原 清水 笠原 清水 笠原 笠原
備考	○年間指導計画に沿って生徒の実態に応じて円滑に実施し、年度末には見直しを図る。	

生単・社会家庭生活部

担当：○山際 馬場

令和6年度 運営目標	生活単元学習、社会家庭生活学習等が円滑に行われるように学習環境を整えたり、知識・理解を深めるための情報を提供したりする。	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活単元学習、社会家庭生活学習関連の資料の回覧</li> <li>○社会家庭生活に関わる出張授業（選挙・消費者学習等）の計画・運営</li> <li>○取り扱う資料・教材・備品等の提供と整理</li> <li>○調理室の衛生管理と整理、利用調整</li> <li>○調理にかかわる洗剤、スポンジ、検食用袋等消耗品の管理、整理</li> <li>○備品・消耗品の管理・購入と補充</li> <li>○保管場所（冷蔵庫等）の定期整理</li> </ul>	山際 馬場 山際 山際 馬場 山際 馬場 山際 馬場 山際 馬場
備考	※長期休業中に教材の整理を行い、適宜不足分の補充を行う。 ※社会家庭生活に関わる出張授業の必要性について検討を行い、必要な場合は計画・運営を行う。	

課題別学習部

担当：○三星 坂井 阿部淳

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語・数学の基礎的な能力を養う環境を整える。</li> <li>○教育的ニーズを把握するステップアップシートの活用方法の提案を行う。</li> </ul>
---------------	---



具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作業学習オリエンテーション</li> <li>○作業学習1年生体験計画</li> <li>○各学期の納会準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期末納会</li> <li>・2学期末納会</li> <li>・3学期末納会</li> </ul> </li> <li>○きらめき祭作業製品販売計画</li> <li>○年度末作業作品販売計画。</li> <li>○作業作品の価格設定について考える。</li> <li>○外部機関からの依頼に対応して、商品の納品・販売を行う。</li> <li>○「五泉市障害者フェスティバル」に出店する。</li> </ul>	荒木 荒木  中村 阿部建 西丸 荒木 荒木 全員 荒木  阿部建
備考		

### 体育・保健体育部

担当：○小熊 荒木

令和6年度 運営目標	「様々な運動を体験してその楽しさを味わい、運動に対する興味・関心や自ら運動していこうとする意欲を持つことができる。」 「様々な運動を通して、体力や運動技能の向上を図ることができる。」 「自分の健康や体の変化に気付くことができる。」	
具体的な活動内容 と担当	<年間担当> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体育祭の企画と運営統括</li> <li>○新潟県障害者スポーツ大会事務</li> <li>○特体連「地区別専門委員会」の出席</li> <li>○遊具、備品管理と補修作業</li> <li>○保体の文書回覧と文書のファイリング</li> <li>○備品・消耗品の購入と補充</li> <li>○掲示物の管理</li> <li>○web交流会の企画・運営</li> </ul> <その他の活動> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体育館用具室、体育備品の整備</li> <li>○村松高等学校との連絡調整</li> </ul>	小熊・荒木 荒木 小熊 小熊・荒木 小熊・荒木 小熊 小熊・荒木 小熊  小熊・荒木 小熊
備考		

### 特別活動部

担当：○蒲澤 馬場 清野

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年集団での活動を通して生徒の経験を広げ、社会性を育てる。</li> <li>・「委員会活動」「クラブ活動」「集会」を円滑に運営する。</li> </ul>	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団活動・集会の計画と指導</li> <li>○委員会活動・クラブ活動の計画と運営</li> <li>○きらめき祭の計画・運営</li> <li>○村松分校選挙の運営（生徒委員会と協力）</li> <li>○年間計画の作成・修正</li> <li>○備品・消耗品の管理・会計</li> </ul>	全員 清野・全員 蒲澤・全員 馬場・全員 蒲澤 蒲澤・全員
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらめき祭の計画は、各担当と相談しながら早めに計画を立てていくようにする。（開催場所等も含めて）</li> <li>・今年度のきらめき祭のステージ発表は、クラブ活動の単位での発表とする。</li> </ul>	

## ②各種教育

### 保健指導部

担当：○宇野 吉田

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健安全管理が適切に行われるように、時期をとらえた研修を計画・運営する。</li> <li>保健教育については、年間指導計画に位置づけ計画的に行う。</li> </ul>	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健関係               <ul style="list-style-type: none"> <li>保健安全管理の徹底（洗濯機の消毒等含む）</li> <li>保健教育の推進</li> <li>保健安全研修の運営</li> </ul> </li> <li>○清掃関係               <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃指導（学期末大清掃含む）</li> <li>用具の配当と補充</li> </ul> </li> </ul>	全員 全員 全員  吉田 宇野
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健安全管理については年度初めに提示するマニュアルに則って行う。</li> <li>研修は昨年度同様に行う。</li> </ul>	

### 食育・給食指導部

担当：○中川 笠原 宇野

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に安全で安心な給食を提供するために、環境衛生と食材の管理を徹底する。</li> </ul>	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食実施にかかわる計画（4月）</li> <li>給食実施状況報告の提出（1月）</li> <li>給食用備品と給食用消耗品の管理・補充</li> <li>欠食一覧表・給食人数表・台帳提出</li> <li>給食週間の実施（委員会）</li> <li>給食便り印刷配布</li> <li>検食簿綴り・配送簿 温度管理表の作成綴り</li> <li>衛生管理チェックリストの作成、提出</li> </ul>	中川、笠原 中川 中川、笠原 中川 全員 中川 中川 中川
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健安全管理については年度初めに提示するマニュアルに則って行う。</li> </ul>	

### ICT教育部

担当：○捧 西丸 小熊

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報教育の資料を適切に提供し、授業に役立てるとともに、校内外における情報機器の取り扱いや、視聴覚のきまりの徹底を図る。</li> <li>ICT教育の推進を図る。</li> </ul>	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈視聴覚・情報〉</li> <li>○視聴覚・情報関連機器の整理と管理</li> <li>○消耗品の補充</li> <li>○情報教育の資料提供</li> <li>○学校行事における放送機器準備と操作</li> <li>○情報・ネットワーク管理</li> <li>○電子申請の手続き</li> <li>○視聴覚機器の使用予約表の管理</li> <li>○office365の管理</li> <li>○各種調査</li> <li>&lt; ICT推進 &gt;</li> </ul>	全員 全員 捧 全員 捧 捧 西丸、小熊 捧 全員

	○端末等関連の管理、更新、購入等の環境整備 ○ICT推進に関するオンライン会議 ・定例会等（ICT推進教諭情報交換会） ・研修参加	全員 捧
備考		

### 人権同和教育・道徳教育部

担当：○清野 堀口

令和6年度 運営目標	人権同和教育 「偏見や差別をしない、相手を思いやる心をもった生徒の育成に向けて、教育活動全般を通して、発達段階の実態に応じた支援をする。」 道徳教育 「人と関わり、互いを認め合い、思いやりを持つ意識や態度の育成に向け、生徒の実態に応じ、教育活動全般を通して支援する。」	
具体的な活動内容 と担当	○職員校内研修会（夏期休業中）の計画・実施 ○「人権教育強調週間」（12月初め） ・授業の報告書の作成 ・生徒委員会との取り組み ○研修会の案内と参加	清野 清野 清野・堀口
備考	・生徒委員会と協力し、全校生徒に向けて人権道徳について呼びかける機会を作る。 ・長期休業中に校内研修を行う。	

### 校地・安全防災部

担当：○馬場 山際

令和6年度 運営目標	・学校や生徒の実態に応じた実践的な避難訓練を実施し、避難訓練や防災指導を通して生徒の防災、災害時の避難に必要な知識と技能の指導を図る。 ・校舎内外の施設設備の安全を確保するために、計画的な点検活動を行い、生徒が安全に学校生活を送ることができるように努める。	
具体的な活動内容 と担当	○「避難訓練の実施と計画」（事前事後含む） ・1学期 火災（村松高等学校との合同） ・2学期 不審者（職員用の研修も兼ねる） ・3学期 地震 ・避難経路図作成 ・書類集約、入力業務（避難訓練点呼表、防災マニュアル更新） ○教室表示の作成と調整 ○安全点検箇所を設置・安全点検の実施と統括 ○除雪当番の設定・毎朝の除雪の有無の確認	馬場 馬場 山際 馬場 馬場 馬場 山際 馬場 馬場
備考	・必要に応じて村松高等学校と連携して活動を計画する。	

### 総合・交流部

担当：○坂井 中村

令和6年度 運営目標	地域の人や同年代の生徒との交流活動をとおして、社会生活に必要な基礎的、実践的な力を育てる。	
具体的な活動内容	【主な活動】 ○総合・交流教育全体計画の作成項目	【担当】 ○坂井

と担当	○交流活動の計画作成と実施 ・加茂農林高等学校との交流会（9月予定） ・村松高等学校との交流（詳細は後日決定）	○坂井 中村
	○ALTとの交流（未定）	○坂井 中村
備考	※ALTとの交流を県に申請しているが回答が来ないため未定	

## 進路支援部

担当：○阿部建 蒲澤 捧

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自己理解や進路の選択肢についての理解を促し、自分に適した進路や目指すべき姿について考える機会を提供する。</li> <li>・関係機関との連携を深め、在学中から進路先への移行を円滑にできるようにする</li> </ul>	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内進路学習全体計画作成</li> <li>○職場実習の計画、調整、総括</li> <li>○職場実習事務処理 （インターンシップボランティア保険加入手続き・会計処理、事前打ち合わせセット準備、封筒開封、評価票保存処理、就学奨励費申請書類作成等）</li> <li>○職場実習事前・事後学習教材配付（礼状指導含む）</li> <li>○校内実習の計画、運営</li> <li>○校内実習事前・事後学習教材配付</li> <li>○職場体験（商工会議所）の全体計画・調整</li> <li>○職場体験（商工会議所）の引率計画作成</li> <li>○企業・事業所・上級学校見学等の調整</li> <li>○「はたらく未来へ！スキルアップシート」の計画・運用</li> <li>○保護者向け進路ハンドブックの作成</li> <li>○卒業生アフターケア</li> <li>○同窓会事務局業務の計画・実施 （会計、「同窓の集い」の計画運営など）</li> <li>○生涯学習フェスティバル参加計画作成、取りまとめ</li> <li>○ハローワーク求職登録会、らいふあつぷ登録会の計画、運営</li> <li>○業務補助員の業務の計画・調整、進路相談</li> <li>○進路先開拓業務の実施</li> <li>○進路にかかわる職員研修の計画運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿部建</li> <li>阿部建 蒲澤</li> <li>蒲澤</li> <li>蒲澤 阿部建</li> <li>捧 級外職員 1年部</li> <li>捧</li> <li>阿部建</li> <li>蒲澤 捧</li> <li>阿部建（蒲澤）</li> <li>阿部建（蒲澤）</li> <li>阿部建（蒲澤）</li> <li>阿部建（捧）</li> <li>阿部建（阿部淳）</li> <li>阿部建（捧）</li> <li>阿部建（蒲澤）</li> <li>阿部建（蒲澤）</li> <li>阿部建</li> <li>捧</li> </ul>
備考		

生徒指導部

担当：○坂井 三星

令和6年度 運営目標	「学校や生徒の実態に応じた予防的生徒指導を実施する。」 「生徒が安心・安全な学校生活を送れるよう、事案に応じて迅速に情報を共有しながら対応する。」	
具体的な活動内容 と担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒個別ファイルの作成・管理</li> <li>○保存期限を過ぎた生徒個別ファイルの廃棄</li> <li>○捜索用生徒顔写真アルバムのエクセルシート印刷、クリアブックへの保存、管理</li> <li>○身分証明書発行（4月）</li> <li>○生徒理解会議、プチケース会議の計画と実施</li> <li>○学校生活（いじめ）に関するアンケートの実施と集約（各学期1回、計3回）</li> <li>○生徒規則の作成、見直し、配付</li> <li>○携帯・スマホ安全教室の実施</li> <li>○生徒指導集会の実施（長期休業前に実施） ・長期休業前指導（たより作成、配付） （GW・夏休み・冬休み・春休み前の4回）</li> <li>○いじめ見逃しゼロコンクール関係の集約・送付 （標語・ポスター）</li> <li>○登下校指導の計画と実施</li> <li>○保護者バスの乗車チェック表の作成、乗車確認</li> <li>○職員研修会の実施</li> <li>○いじめ対策委員会の運営、関係職員との連携、生徒への聞き取り、生徒指導記録・会議録の作成、管理職への報告、供覧による情報共有</li> <li>○いじめの経過・解消についての判定会議運営</li> <li>○生徒指導関係のリーフレットの印刷、配付</li> <li>○衣替えの連絡（年2回）、女子生徒更衣室の環境</li> <li>○各種調査への対応</li> <li>○生徒指導関連文書の管理・回覧等</li> <li>○各種許可証、申請書の管理（アルバイト、自動車運転免許、自転車通学等）</li> <li>○過年度の生徒指導関連文書の整理・廃棄処分等</li> </ul>	<p>坂井、三星 坂井、三星 坂井</p> <p>坂井 坂井 坂井</p> <p>坂井 坂井、三星 坂井、三星</p> <p>坂井</p> <p>坂井 坂井、三星</p> <p>坂井 坂井 坂井 坂井 坂井 坂井 坂井</p>
備考		

訪問・医ケア部

担当：○宇野 三星

令和6年度 運営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態に応じて保護者と連携して生活のリズムを整え、体調の安定に努める。</li> <li>・日々の授業や家庭の状況等を訪問・医ケア部で情報交換し、チームで生徒や家庭を支援できるようにする。</li> <li>・スクーリングや複数訪問等を計画して、周囲の人との関わりやふれ合いをもてるようにする。</li> <li>・教室環境や授業内容等に配慮しながら、医療的ケア生徒の実態に応じて、安心して安全な医療的ケアを実施できるようにする。</li> </ul>
---------------	--

<p>具体的な活動内容 と担当</p>	<p>○通常訪問授業の実施、複数訪問の計画 ・複数訪問は2ヶ月に1回程度実施する。</p> <p>○訪問授業の内容の整理等 ・授業内容 *個々の取組や学習内容を随時整理、学習内容の情報交換、積み上げをしていく。</p> <p>○必要物品等の購入、予算請求等</p> <p>○訪問や医療的ケアの授業や活動の整理 ・訪問や医療的ケアの授業内容等を研修し、積み上げる。 ・訪問授業、医療的ケアに関する職員向けの研修を行う。</p> <p>○サービス等の利用や学校との連携 ・五泉市のコーディネーターと連携して訪問指導を行う。適宜情報交換を行う。</p> <p>○情報交換会の実施 ・必要に応じて行う。</p>	<p>担任：捧 複数訪問：訪問・医ケア部、関係職員</p> <p>担任：捧</p> <p>捧 捧</p> <p>捧 特支C o.</p> <p>調整：捧</p>
<p>備考</p>		

## 6 支援部

通級指導教室

担当：○佐藤 中村 (教頭)

<p>令和6年度 運営目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を肯定的に捉え、自尊感情を高めることができるように支援する。</li> <li>自己の困難を改善するために必要な知識・技能の習得を図り、自ら取り組もうとする意欲や態度を育てる。</li> <li>保護者や在籍校、関連機関との連携に基づく支援体制を構築する。</li> </ul>	
<p>具体的な活動内容 と担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に合わせて、「自立活動」の内容を中心に必要な指導内容を設定する。</li> <li>読むこと、書くこと、計算すること、図形認識にかかわること等の指導を支援する。</li> <li>在籍校の担任、保護者との連携を図るために、話し合う時間をもつ。</li> <li>専門の医療機関や関係機関との連携を図る。</li> </ul>	<p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p>
<p>備考</p>		

# 五泉特別支援学校村松分校「学校いじめ防止基本方針」

## 1 いじめの防止などの対策に関する基本的な考え方

〈いじめの定義〉

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。

【いじめ防止対策推進法 平成25年法律第2条から】

いじめは、いじめを受けた生徒の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は心身に重大な危険を生じさせるおそれがある。

「いじめは、どの子供にも、どの学校でも起こりうる」問題であり、いじめに悩む児童生徒を救うため、本基本方針に基づき、学校、家庭、地域、その他の関係者の皆様と強い連携の下で、「いじめを決して見逃さない、いじめを決して許さない」という意識を共有し、いじめの防止などに全力で取り組む。

いじめの防止などの対策は、全ての生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、日頃から「いじめを許さない」意識の醸成やお互いを尊重し合う人間関係の構築、いつでも誰でも相談できる体制の整備など、学校の内外を問わずいじめを未然に防止することを第一に考え実施する。

また、いじめが発生した場合には、いじめを受けた生徒の生命・心身を保護することが特に重要であるとの認識を共有し、県、学校、家庭、地域、関係機関などが連携して、いじめ問題の克服に取り組む。

いじめを行った生徒への指導に当たっては、いじめは相手の人格を傷付け、生命をも脅かす行為であることを理解させ、自らの責任の重さを十分自覚させると共に、当該生徒が抱える問題など、いじめの背景にも目を向け、健全な人格の発達に配慮する。

加えて、いじめの加害・被害という二者関係だけでなく、いじめを認識しながらはやし立てたり面白がったりする生徒や、周辺で傍観している生徒に対しても、それがいじめに間接的に荷担する行為であることを自覚させ、全ての生徒が、いじめは決して許されない行為であることを十分理解できるようにする。

## 2 いじめ防止対策を実効的に行うための組織の設置

本校はいじめを未然防止し、全ての生徒が安心して学校生活を送ることができるように、また、いじめ防止等に関する取組を実効的に行うため、法第22条に基づき、「いじめ対策委員会」を設置する。この同委員会を中心に、学校全体でいじめの防止と早期発見に取り組むとともに、保護者やふなおか学園、地域との連携を図りながら、いじめが疑われる場合は、適切かつ迅速に対応し、さらにその再発防止に努める。

### (1) 組織の構成員

校長・教頭・生徒指導主事・養護教諭・各学年主任・SC

※ 必要に応じ、関係する教職員やふなおか学園職員、専門家等の参加を求める。

### (2) 組織の役割

① 学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施、具体的な年間指導計画の作成・実行・検証・修正の中核とする。

- ② いじめの早期発見、適切かつ迅速な対応のための相談・通報の窓口となる。
- ③ いじめに関する情報や生徒の問題行動などに係る情報の収集と記録、共有を行う。また、本校への入学以前の間関係が原因となり、いじめを引き起こすことのないよう関係機関と必要な連携を行う。
- ④ 生徒のいじめの疑いに関する情報があった際は緊急会議を開催し、事実関係の把握といじめの定義に照らし合わせて、いじめであるか否かの判断を行う。
- ⑤ いじめを受けた生徒、いじめを行った生徒、さらには間接的にいじめに荷担した生徒に対する支援・指導の体制・対応方針の決定と対応を組織的に実施する。

### 3 いじめ対策委員会への報告と記録の保存

- (1) いじめ対策委員会が情報の収集と記録、共有を行う。また、収集した情報は、個別の生徒ごとに記録し、複数の教職員で個別に認知した情報の集約と共有化を図る。
- (2) 各教職員はささいと思えるいじめの兆候や懸念、生徒からの訴えを抱え込まず、また対応不要と個人で判断せずに、全て同組織に報告・相談する。
- (3) 記録は5年間保存とする。
- (4) 生徒の進学・転学にあたって、適切に引き継いだり情報提供したりできるようにする。

### 4 いじめ防止のための取組

- (1) いじめを生まない学校・学級風土づくり、居場所づくり
  - ① 生徒が心の通じ合うコミュニケーション能力を育み、規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加・活動できるような授業づくりや集団づくりを行う。
  - ② 企業就労や福祉就労等に向けて社会的自立を目指す目標のもと、居場所や絆をつくる活動を通じて、生徒自ら規律正しい態度で授業や行事に参加できるよう指導・支援を組織的に行う。
  - ③ 生徒の社会性を育成し、学校や学部、学級の集団の一員として自覚をもたせるとともに、互いの良さを認め合える人間関係づくりを通じた学校風土の醸成に努める。
  - ④ 生徒に対して、傍観者にならずに他者に知らせたり、いじめを止めさせたりするための行動をとる重要性を理解させる。
  - ⑤ 特に配慮が必要な生徒については、日常的に当該生徒の特性を踏まえた適切な支援を行うとともに、保護者や関係機関との連携、周囲の生徒に対する必要な指導を組織的に行う。
- (2) 教職員の意識と資質の向上
  - ① 教職員の何気ない言動が生徒を傷付けたり、他の生徒によるいじめを助長したりすることのないよう、指導の在り方に細心の注意を図る。
  - ② いじめ防止に関する職員研修を定期的実施する。

### 5 いじめの早期発見のための取組

- ① 日常的に生徒の見守りや信頼関係の構築などに努め、生徒が示す変化や危険信号を見逃さないように危機意識をもつて的確に関わり、積極的な認知に努める。
- ② 生徒がSOSを発信した場合、必ず学校の教職員が迅速に対応することを徹底する。
- ③ 生徒及び保護者がいじめに関連した事案を気軽に相談できる校内体制を整え、家庭、地域、関係機関と連携して生徒の見守りを継続する。
- ④ 運営委員会や職員会議、学部会、生徒指導部会、生徒理解の会などにおいて、定期的に職員

間の情報交換を密に行い、いじめが深刻化する前に全職員で対処できるようにする。

- ⑤ 生徒及び保護者対象のいじめアンケートの実施と追跡調査を行い、いじめの早期発見に努める。

## 6 いじめに対する対処

- ① いじめの疑いを発見、又は通報を受けた場合には、一部の教職員で抱え込まず、速やかにいじめ対策委員会を中核として組織的に対応し、いじめを受けた生徒及びいじめの疑いを知らせてきた生徒を徹底して守る体制を整える。
- ② いじめに係る相談や情報が入った場合は、速やかに事実確認を行う。
- ③ いじめの事実が確認された場合は、いじめをやめさせるとともに、その再発を防止するためにいじめを受けた生徒・保護者に対する支援と、いじめを行った生徒への指導とその保護者への助言を継続的に行う。
- ④ 子ども同士の関係や個々の障害特性を踏まえて、いじめ発生の要因を明確にすると共に、好ましい人間関係作りについて、丁寧な指導に努めていく。
- ⑤ いじめの関係者間における争いを生じさせないように、いじめの事案に係る情報を関係保護者と共有するための必要な措置を講ずる。
- ⑥ 犯罪行為として取り扱われるべきいじめについては、教職員全員の共通理解、保護者の協力、関係機関との連携のもと、新潟県教育委員会及び所轄の警察署などと連携して対処する。

## 7 インターネットを通じて行われるいじめに対する対処

- ① インターネット上の不適切な書き込み等については、被害の拡大を避けるために、サイト管理者又はプロバイダーに直ちに削除を依頼する。必要に応じて所轄の五泉警察署に通報し、適切に援助を求める。
- ② 情報モラルについては、授業を年1回以上行う。日常では、社会生活の授業にも適宜、場面をとらえてネットトラブルに巻き込まれないように指導を行う。

## 8 重大事案への対処

いじめにより、生命・心身または財産に重大な被害が生じた疑いや、相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるとき、生徒や保護者からいじめにより重大な被害が生じたという申し立てがあったときは、次の対処を行う。

- ① 重大事態が発生したときは、新潟県教育委員会及び警察等の関係機関に速やかに報告する。
- ② 犯罪行為として取り扱われるべきいじめについては、教職員全員の共通理解、保護者の協力、関係機関との連携のもと、新潟県教育委員会及び所轄の警察署などと連携して対処する。
- ③ 新潟県教育委員会と協議の上、当該事案に対処する組織（いじめ対策委員会）を設置する。
- ④ 上記組織を中心として、事実関係を明確にするための調査を実施する。
- ⑤ 上記調査結果については、いじめを受けた生徒・保護者に対し、事実関係その他の必要な情報を適切に提供する。
- ⑥ 上記調査結果を踏まえて検証を行い、重大事案の再発防止のために必要な取組を進める。

## 9 その他

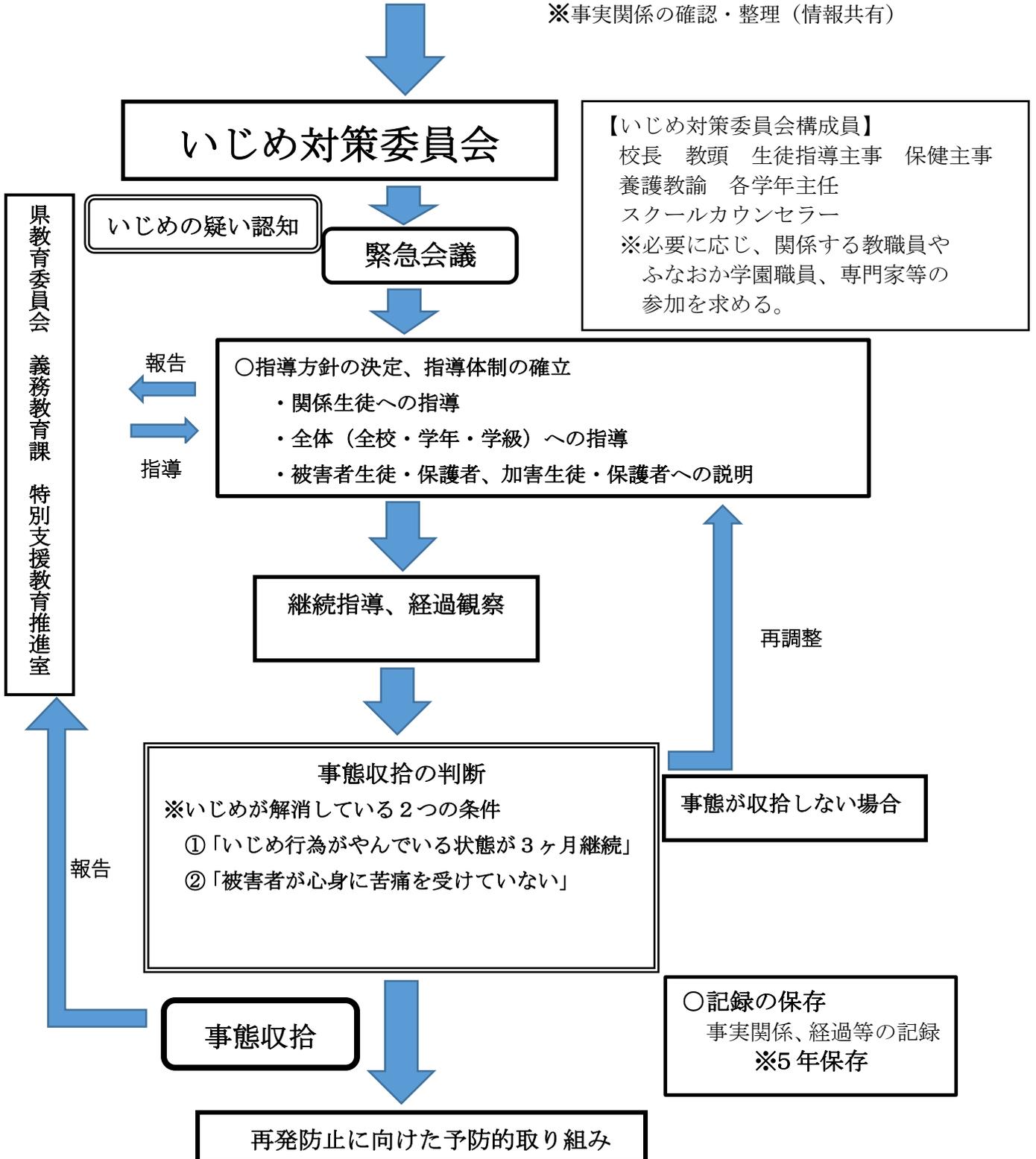
年度末に自校の取組について組織で評価を行い、必要に応じて学校基本方針の改定を行う。

# 五泉特別支援学校村松分校いじめ対応フローチャート

日常の観察・アンケート・本人や周囲からの訴え・保護者からの訴え等により、生徒が何らかの被害を受けている可能性があるとき

◎情報を得た教職員→管理職・学年主任・生徒指導主事

※事実関係の確認・整理（情報共有）



# IV 補足資料

生徒行方不明時の対応

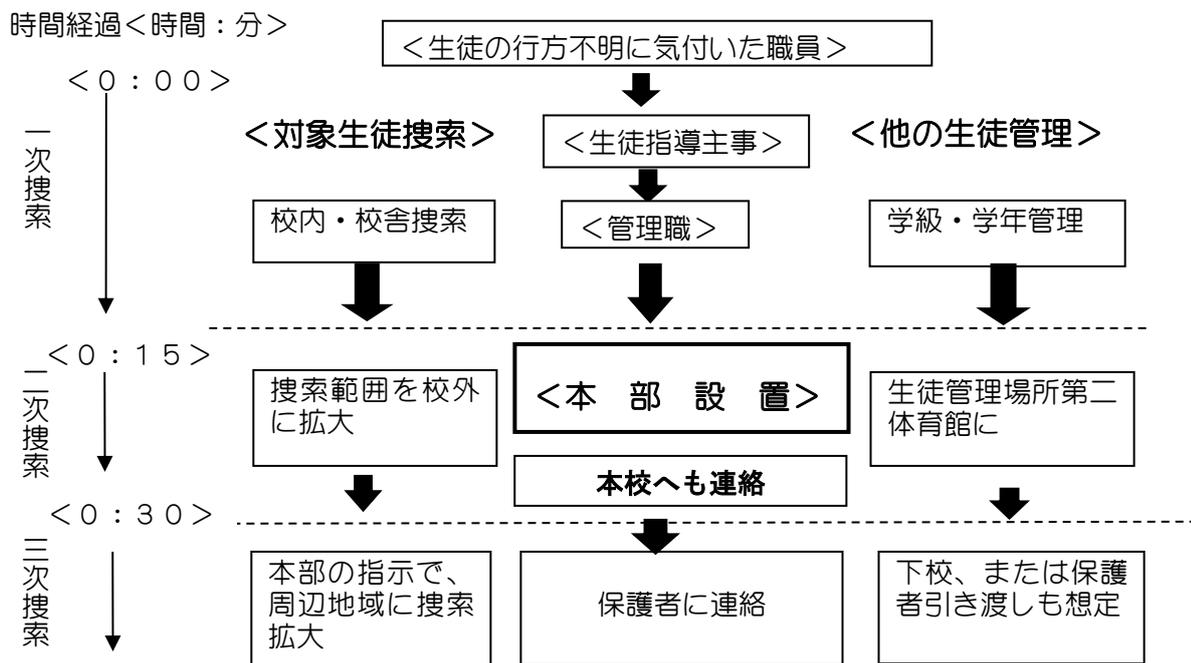
生徒行方不明時の第2次搜索区域地図

当校までの地図と交通案内

年間行事予定

## 生徒行方不明時の対応

### 1 行方不明に気づいてからのフローチャート



\* 状況によって警察に搜索願を提出する。

### 2 その他

搜索・連絡用資料として、生徒の顔写真と生徒票を一括してファイル管理しておく。

## ▲生徒行方不明時の第2次搜索区域地図

- A 学校周辺
- B 村松乙①
- C 村松甲
- D 村松乙②
- E 村松
- F 新田町
- G 村松公園



公共交通機関

[磐越西線]

J R 五泉駅

タクシー約12分